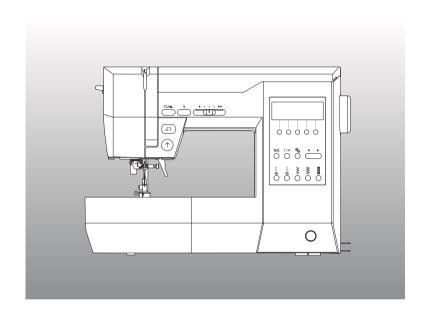
# 使用の手びき

型式:SSX-700



# SINGER

このミシンを安全にお使いいただくため、 この「使用の手びき」をご使用の前に必ず お読みください。

「使用の手びき」は手元に保管し、末長く ご活用ください。 このたびは、シンガーミシンをお買い上げいただき、ありがとうございます。 このミシンは、直線ぬいやジグザグぬいはもちろん、ホームソーイングに必要なぬいが簡単にできる家庭用コン ピュータミシンです。

このミシンの特長をご理解していただき、正しくお使いいただくために、まずこの「使用の手びき」をよくお読みください。

「使用の手びき」をお読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。

# 安全にご使用いただくために \_\_\_\_\_

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたいことを説明しています。 危害や損害の程度を表す表示の意味と内容は以下のとおりです。

警告	 誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項です。 
注意	誤った取り扱いをすると、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項です。

「使用の手びき」で使用されている図記号の意味は次のとおりです。

してはいけない内容です	実行しなければならな い内容です	感電の危険があります
分解してはいけません	電源プラグを抜いてく ださい	火災の危険があります
水に濡らしてはいけま せん	気をつけていただく内 容です	針の下に指を入れない でください



# 感雷、火災の恐れがあります。





- 1. 一般家庭用交流電源 100 V以外では使用しないでください。感電・火災の恐れがありま す。
- 2. 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。感電・火災の 恐れがあります。
- ・ミシンのそばを離れるとき
  - ・ミシンを使用したあと
  - ・ミシンを使用中に停電したとき
  - ・ミシンのお手入れをするとき
  - ・ミシンを移動させるとき
  - ・ミシンが正常に作動しないとき
  - ・雷が鳴りはじめたとき

# î 注意 感電、火災、ケガなどの原因となります。

- 1. 以下のようなところには置かないでください。故障や火災の原因になります。
  - ・異常に温度が高くなるところ
  - ・温度が著しく低くなるところ
  - ・屋外や直射日光の当たるところ
  - ・油煙や湯気の当たるところ
  - ・湿気やほこりの多いところ



2. 直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンなど温度の高くなるもののそば、火の 気のあるもののそばでは使用しないでください。ミシンの内部部品や電源コードの被膜 が溶けて、感電・火災の原因となります。





3. スプレー製品などを使った部屋では使用しないでください。可燃性ガスへの引火による やけどや火災の原因となります。





4. ミシンが傾いたりぐらついたりするような不安定な場所には置かないでください。倒れ たり、落下するとケガの原因となります。ミシンは安定した平らなテーブルや机の上で ご使用ください。





5. コンセントや配線器具の定格を超えるようなたこ足配線はしないでください。感電や発 熱による火災の原因となります。





6. 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因となります。



7. 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発 熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・差し込みの緩いコンセントは使用しな いでください。



8. 電源プラグを抜くときは電源スイッチを切り、プラグを持って抜いてください。電源コー ドを持って抜くとコードが傷み、感電・火災・ショートの原因となります。



9. 電源プラグのほこりは乾いた布で定期的にふき取ってください。プラグにほこりがたま ると絶縁不良となり、火災の原因となります。

電源コードやプラグを破損するようなことはしないでください(傷つける、加工する、加熱する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物をのせる、たばねるなど)。破損したまま使用すると、感電・火災・ショートの原因となります。 電源コードやプラグが破損したときはミシンの使用をやめ、お買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡ください。
電源コードは、赤いマーク以上引き出さないでください。断線の恐れがあります。
長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグを抜いてください。 通電した状態で放置、保管すると、 絶縁劣化・ろう電などにより火災の原因となります。
袋類は、お子様がかぶらないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。誤ってかぶると窒息の恐れがあります。
お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるとき、お子様の近く でご使用されるときは、特に安全に注意してください。
ミシンを移動するときは、不用意に持ち上げたり、動かしたりしないでください。腰や 膝を痛める原因となります。
ミシンを持ち運ぶときは、必ずハンドルを持ってください。他の部分を持つと、壊れたりすべって落としたりして、ケガや故障の原因となります。
ミシンに水をこぼしたり濡らしたりしないでください。感電・火炎の原因となります。 万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡ください。
ミシン本体のすきまに異物を入れたり、ドライバーなどを差し込んだりしないでください。感電・ケガ・故障の原因となります。万一、針などの異物が入った場合は、使用をやめてお買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡ください。
別売り品や交換部品は、必ずシンガー指定のものをお使いください。指定外のものを使用すると、ケガ・故障の原因となります。
お客様ご自身での分解、改造はしないでください。感電・火災・ケガの原因となります。 使用の手びきに記載されている以外の点検、修理、調整、掃除は、お買い上げの販売店、 または別掲の「お客様相談係」にご依頼ください。
使用の手びきに記載のあるミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、電源 プラグを抜いてください。ケガ・感電の原因となります。
ミシン操作中は、針から目を離さないようにし、針、ハズミ車、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
針や押えを交換するときは電源スイッチを切り、使用の手びきの説明にしたがって確実 に固定してください。取り付けを誤るとケガや故障の原因となります。
上糸や下糸をかけるときは、使用の手びきの手順にしたがって正しく行ってください。 糸かけが正しくないと、縫製中に糸がからんで、針が曲がったり折れたりして、ケガの 原因となります。
曲がった針や先がつぶれた針は使用しないでください。針が折れてケガの原因となりま す。
糸や針は、使用の手びきにしたがって布地に合ったものをお使いください。デニム地な どの厚めの布に細い針を使うと、針が折れてケガの原因となります。

	27. 押えは、使用の手びきにしたがって正しい模様や設定でお使いください。誤った模様や設定では、針が押えにぶつかって折れる恐れがあります。
	28. 針の下に指などを入れないでください。ケガをする恐れがあります。
	29. 縫製中に布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。ケガや針折れの原因となります。
0	30. シームリッパ―で穴を開くとき、リッパ―の先端に手や指を置かないでください。すべったときにケガをする恐れがあります。
	31. フットコントローラー (別売り品) の上に物をのせないでください。ケガや故障の原因となります。
	32. ミシンやフットコントローラー(別売り品)に以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡の上、点検、修理、調整をお受けください。そのまま使用すると感電・火災の原因となります。 ・正常に作動しないとき ・落下などにより破損したとき ・水に濡れたとき ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき

- シンガーは、皆様に常に最新の裁縫性能を提供するために、必要に応じてこのミシンの外観、デザインまたは、 付属品を予告なく変更することがあります。
- ミシンをご使用になる方(お子様を含む)が、身体・知覚・精神的能力になんらかの障害を持つ場合、あるい は経験や知識が十分でない場合には、監督者またはミシンを安全に使え、ミシンの危険を理解している人のも とでのみ使用してください。
- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。 This sewing machine is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 職業用としてご使用になった場合は保証をいたしかねますので、ご了承ください。

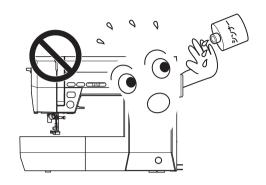
・煙が出たり、異常な臭いや音がするとき

・中に異物が入ったとき

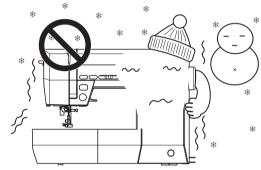
- ●「使用の手びき」の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- ●「使用の手びき」の内容は必要に応じて予告なく変更することがあります。
- ●「使用の手びき」の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら別掲の「お客様相談係」 にご連絡ください。

# ミシンの取り扱い

● シンナーやベンジンなどでふかないでください。 汚れたら、やわらかい布に中性洗剤を少し含ませて、よくふき取ってください。



● 低温の場所から出したときは、普通の温度になじむまで、しばらく置いてください。 時間がたてば正常に作動するようになります。 保管は、なるべく寒いところをさけてください。



# ミシンカバー

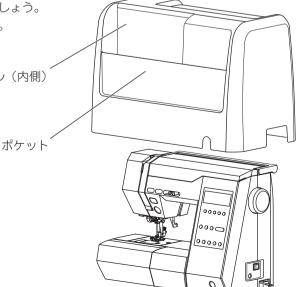
ミシンを使わないときは、ミシンカバーをかぶせておきましょう。 ミシンカバーのポケットには、この手びきが収納できます。

発泡スチロール(内側)





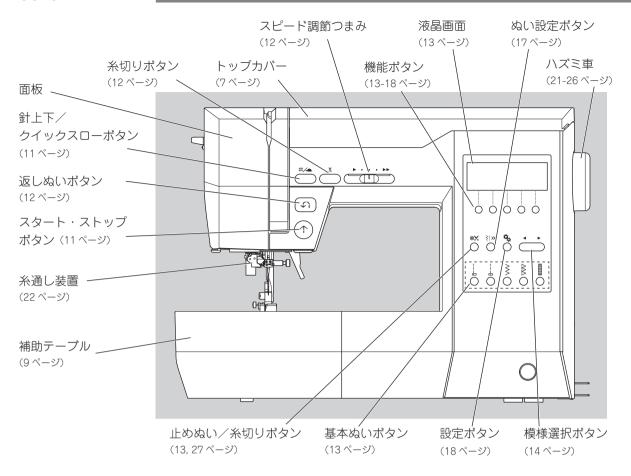
ミシンカバーの内部に貼り付けてある発泡スチロールは、 取り外さないでください。

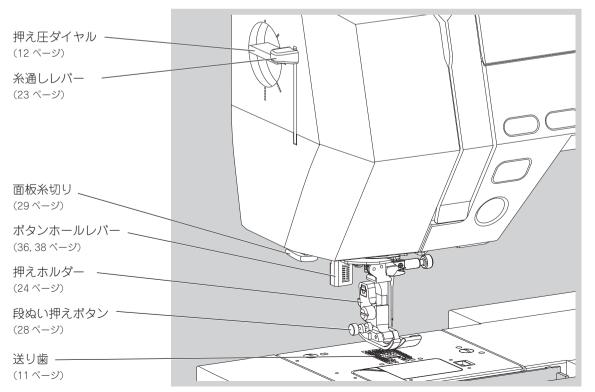


# 目次

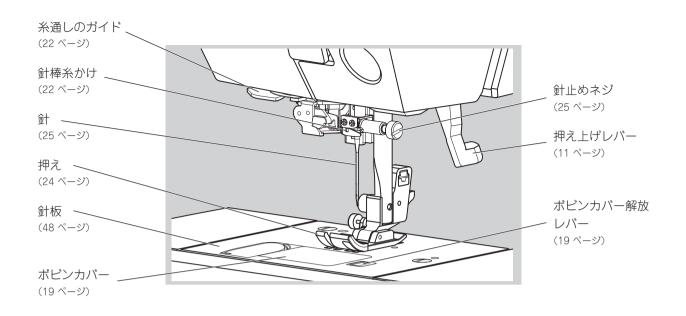
安全にご使用いただくために	表紙裏	ぬってみましょう	26
ミシンの取り扱い	4	ぬい始め~ぬい終わり	26
ミシンカバー	4	返しぬい	27
各部のなまえ	6	自動止めぬい・自動糸切り	27
付属品・補助テーブル	9	ぬい方向の変え方	28
付属品	9	厚地のぬい始め(段ぬい押えボタンの使い方)	28
補助テーブルの開け方	9	段ぬい	29
補助テーブルの取り外し方	9	糸切りボタンを使わないとき	29
電源を入れましょう	10	下糸を長くとってぬい始めたいとき	29
フットコントローラーのご案内(別売り品)	10	直線ぬい	30
各部のはたらき	11	自動返しぬい付直線ぬい	30
スタート・ストップボタン	11	伸縮ぬい	31
お知らせランプ	11	伸縮強化ぬい	31
針上下/クイックスローボタン	11	ジグザグぬい	32
押え上げレバー	11	つくろいぬい (点線ジグザグぬい)	32
ドロップフィードレバー	11	ふちかがりぬい (たち目かがり)	33
押え圧ダイヤル	12	まつりぬい (ブラインドステッチ)	34
糸切りボタン	12	パッチワーク	35
スピード調節つまみ	12	アップリケ	35
返しぬいボタン	12	ボタンホールぬい	36
模様の選び方/模様の調整	13	かん止め	38
液晶画面	13	ファスナー付け(つき合わせ・脇あき)	39
機能ボタン	13	つき合わせ	39
止めぬい/糸切りボタン	13	脇あき	40
ぬい設定ボタン	13	ピンタック	41
設定ボタン	13	アイレット(はと目穴)	41
模様選択ボタン	13	スカラップステッチ	42
基本ぬいの選び方(基本ぬいボタン)	13	手ぬい風キルトステッチ	43
基本ぬい以外の模様の選び方	14	飾りぬい	43
ふり幅とぬい目長さ	14	フリーアームぬい	44
模様一覧	16	大型テーブルのご案内(別売り品)	44
自動糸調子	17	キルティング押えのご案内(別売り品)	45
設定ボタンの使い方(LED ライト/ブザー音	/画面	キルティング押えの取り付け方	45
のコントラスト/針停止位置)	18	ぬい方 (曲線ぬい)	
下糸の準備	19	上送り押えのご案内(別売り品)	46
ボビンの取り出し方	19	上送り押えの取り付け方	46
下糸の巻き方	19	ぬい方	46
ボビンのセット	20	ミシンのお手入れ	47
上糸の準備	21	ミシン表面、ミシンカバーの掃除	47
上糸のかけ方	21	ボビンケースの掃除	47
糸通しの使い方	22	外がまと送り歯の掃除	48
押えと押えホルダーの取りかえ方	24	仕様	
押えの取りかえ方	24	お知らせメッセージ	49
押えホルダーの外し方	24	こんなときには	
糸と針の選び方	25	修理サービス要領	
針の取りかえ方	25	お問い合わせまたはご相談先(純正部品の購入方法)	52
		保証書	表紙

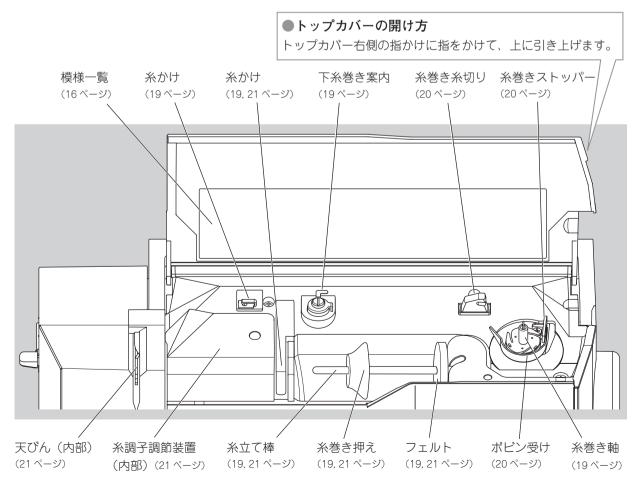
# 各部のなまえ

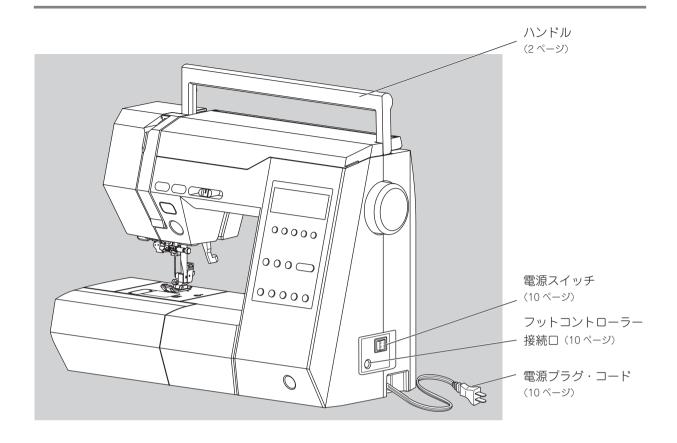




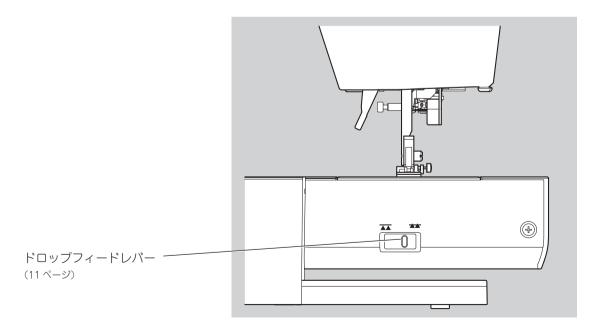
6 各部のなまえ







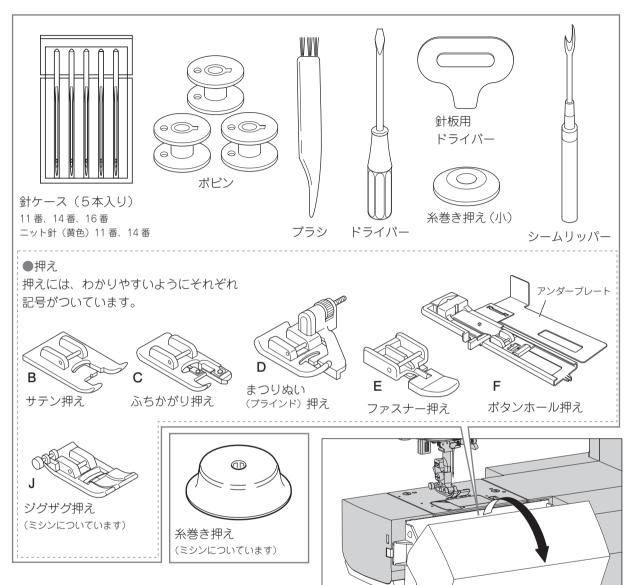
# ●ミシンの背面



# 付属品・補助テーブル

### ■付属品

付属品は補助テーブルの中に入っています。

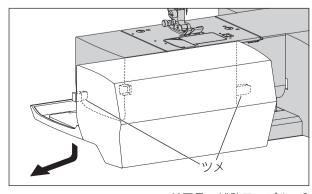


### ■補助テーブルの開け方

テーブル手前の角に指をかけ、手前に倒します。

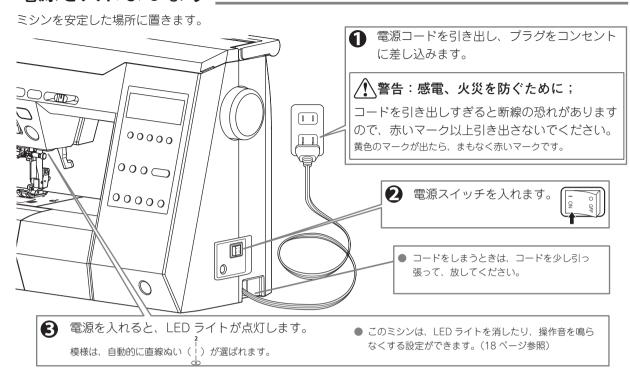
### ■補助テーブルの取り外し方

テーブルの左下に指をかけて、左に引きます。 取り付けは、テーブルのツメがミシンに入るように合わ せ、右にすべり込ませます。

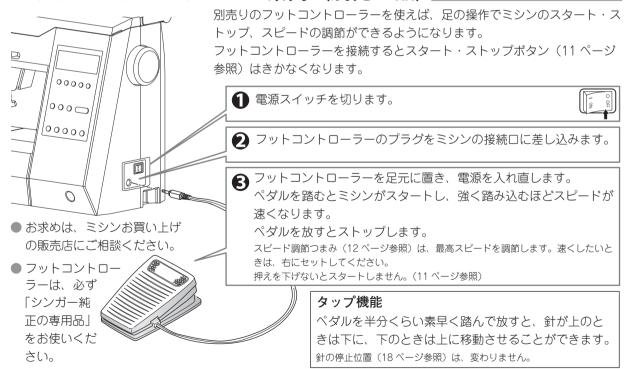


付属品・補助テーブル 9

# 電源を入れましょう



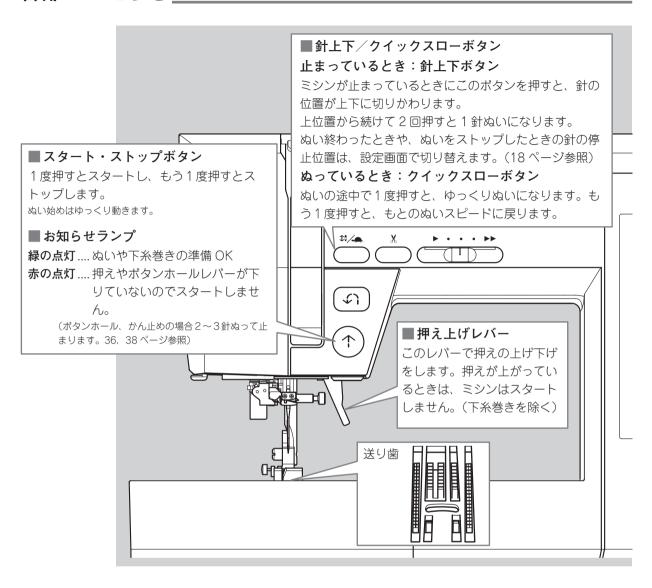
# フットコントローラーのご案内(別売り品)



♠ 警告;感電、火災を防ぐために;

フットコントローラーは、落としたり、座ブトンの下に置いて使用しないでください。

注意:ケガ防止のために;
 フットコントローラーを接続するときは必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

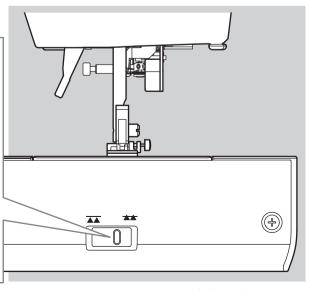


### ■ドロップフィードレバー

ミシン後ろ側の針板の下にドロップフィードレバーが あります。このレバーで送り歯の上げ下げをします。 レバーを右にすると、送り歯が針板の上に出てきて、 布を送ります。通常は、この位置にしておきます。レバー を左にすると、送り歯が針板より下がり、布を送りま せん。キルティング押え(別売り品:45ページ参照) を使って曲線ぬいをするときなど、布を手で操作する ときには、この位置にします。

### ●お知らせ

送り歯を上げた場合、ぬい始めると送り歯が上がって きます。



### ■押え圧ダイヤル

このダイヤルを回して押えの圧力を5段階に調節できます。

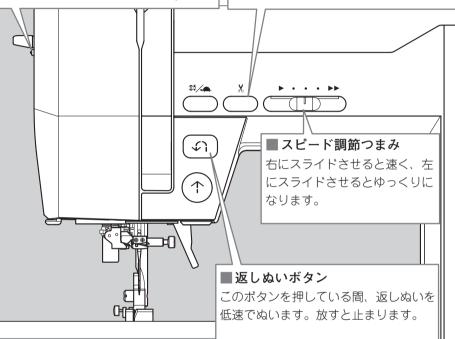
○:弱い ○○○:普通 ○○○○:強い

通常は、○○○にしておきます。 ダイヤルは、押えを下げてから回します。 押え圧を変えてぬった後は、○○○に戻して おいてください。

# ■糸切りボタン

ぬいの終わりにこのボタンを押すと、上 糸と下糸を同時に切ります。

\*番手が30番以下の太い糸やナイロン糸など特殊な糸には、糸切りボタンを使わないでください。 これらの糸を切る場合には、ミシン左側の面板糸切りをお使いください。(29ページ参照)



● フットコントローラー(別売り品)接続時は、返しぬいボタンを押しているときの条件によって返しぬいの速度が異なります。

フットコントローラーを: 低速になりません。速度はフットコントローラー 踏みながら押す で調整してください。

フットコントローラーを : 低速でぬいます。

放して押す

- フットコントローラー(別売り品)を踏んでいるときは、返しぬいボタンを放しても止まりません。返しぬいを止めたいときは、フットコントローラーを放してください。
- 速度によっては、返しぬいボタンを押したあと、ぬい目長さの半分の長さを ぬい進んでから返しぬいがぬわれます。

# 模様の選び方/模様の調整

このミシンでぬえる65の模様がトップカバー内側と、16ページの模様一覧に表示してあります。 模様にはそれぞれ番号がついており、この番号で模様を選びます。

電源を入れたときには、模様2(1)が自動的に選ばれます。

### ■液晶画面

ミシンの電源を入れると、液晶画面に模様案内画面が表示されます。

### ●お知らせ

液晶画面が見づらいときは、画面のコントラストを調整してください。詳しくは、18ページの「設定ボタンの 使い方(LED ライト/ブザー音/画面のコントラスト/針停止位置) | を参照してください。

- @ 選んだ模様と番号
- (b) 模様に適した押えの記号 押えには、それぞれアルファベットの記号がつい ています。
- © 針停止位置

設定画面で設定した針の停止位置を表していま す。停止位置によって以下のように表示されます。

上のとき:₩ 下のとき: #

(d) かり幅

模様のふり幅が表示されます。

直線ぬいの場合は、ぬうときの針の位置が表示さ れます。模様のふり幅と針位置については、14 ページの「ふり幅とぬい目長さ」を参照してくだ さい。

® ぬい目長さ

模様のぬい目の長さが表示されます。 模様のぬい目の長さについては、14ページの「ふ り幅とぬい目長さしを参照してください。

### ■機能ボタン

いろいろな機能の選択や調整に使い ます。使い方は、14ページの「基本 ぬい以外の模様の選び方」、「ふり幅 とぬい目長さ」、17ページの「自動 糸調子 1. 18 ページの「設定ボタン の使い方(LED ライト/ブザー音/ 画面のコントラスト/針停止位置)」 を参照してください。

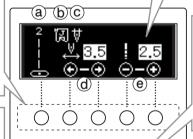
### ■止めぬい/糸切りボタン

ぬいの始めと終わりに自動で止めぬ いをしたり、糸を切ったりします。 使い方は27ページの「自動止めぬい・ 糸切り」を参照してください。

### ■ ぬい設定ボタン

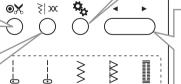
模様案内画面と糸調子調節画面を切 り替えます。

詳しくは、17ページの「自動糸調子」 を参照してください。



### ■ 設定ボタン

ミシンの設定を変更できます。詳し くは 18 ページの「設定ボタンの使 い方(LED ライト/ブザー音/画面 のコントラスト/針停止位置)」を 参照してください。



### ■模様選択ボタン

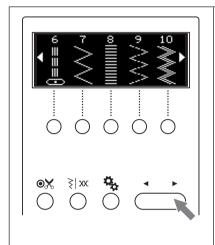
模様を選択するときに使います。 使い方は14ページの「基本ぬい以 外の模様の選び方」を参照してくだ さい。

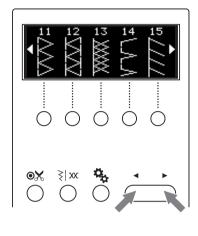
## ■基本ぬいの選び方(基本ぬいボタン)

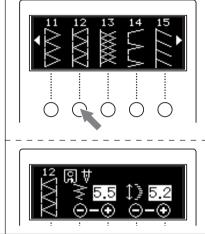
よく使われるぬい(基本ぬい)を直接選ぶことができ ます。ぬいたい模様のボタンを押してください。 選んだ模様が液晶画面に表示されます。

### ■基本ぬい以外の模様の選び方

- ◆ 左右どちらかの模様選択ボタンを押します。
  - 今選ばれている模様のグループが表示されます。
- 2 左側の模様選択ボタンを押すごとに前のグループが、右側のボタンを押すごとに次のグループがが順番に表示されます。
- 3 ぬいたい模様が表示されるまで、模様選択ボタンを押します。ぬいたい模様の下の機能ボタンを押します。



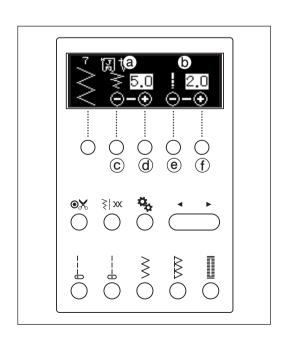




### ■ふり幅とぬい目長さ \_\_\_\_

模様を選ぶと、ふり幅とぬい目長さは、その模様に最適な幅と 長さに自動設定されます。(単位:mm) 機能ボタンを使って手動で調整することもできます。 ぬい目のふり幅と長さの状態が数値で表示されます。 自動設定値は白黒反転して表示されます。 模様を選び直すと自動設定値に戻ります。

- @ふり幅の設定値
- ®ぬい目が細かくなる
- (b)長さの設定値
- ① はい目が粗くなる
- ©ふり幅が狭くなる
- 団ふり幅が広くなる
- ぬいながらでも調節することができます。
- ・最大値、最小値になるとピピピッと鳴ってお知らせします。 (操作音が鳴らないように設定した場合は鳴りません。詳しくは18ページの「設定ボタンの使い方(LED ライト/ブザー音/画面のコントラスト/針停止位置)」を参照してください)
- 模様によって最大値、最小値は異なります。数値が表示されない模様は、自動設定値から変えられません。



### ●お知らせ

ふり幅とぬい目長さの数値は目安です。使用する布地、糸、糸 調子などの条件によりぬい上がりに誤差が生じます。必ず実際 にぬう布地と同じ布地で試しぬいをして、什上がりを確認して ください。

### ●ふり幅

機能ボタン©を押すとふり幅が狭く、®を押すと広くなります。

©ふり幅が狭くなる

@ふり幅が広くなる

- **~~~** +

直線ぬいの模様 1  $\sim$  3( $\frac{1}{2}$   $\frac{2}{3}$ )、6( $\frac{6}{4}$ )、28( $\frac{28}{4}$ ) の場合は、 ふり幅のかわりに、ぬうときの針の位置を左右に変えることが できます。

数値	0	3.5	7.0
針位置	左	中央	右

# 狭くなる 広くなる 左に移動 右に移動

### ●ぬい目長さ

機能ボタン®を押すとぬい目が細かく、①を押すと粗くなりま す。

®ぬい目が細かくなる

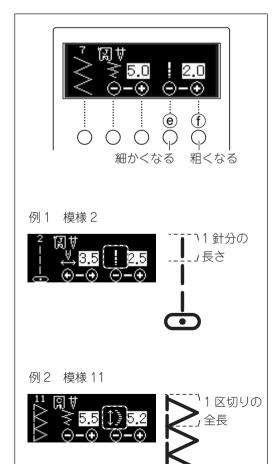
① けぬい目が粗くなる

- **||||||||||** +

• ぬい目長さの表示は模様によって異なります。 詳しくは、16ページの「模様一覧」を参照してください。

: 模様の 1 針分の長さが表示されます。(例 1)

・模様の全長(模様の1区切りの長さ)が表 1] 示されます。(例2) 各模様の全長の区切りについては、16ペー ジの「模様一覧」を参照してください。機能 ボタン®を押すとぬい目が細かくなって全長 が縮み、①を押すとぬい目が粗くなって全長 が伸びます。



### ■模様一覧

このミシンでぬえる模様と、模様番号、模様を選んだときに自動設定されるふり幅とぬい目長さの一覧です。(単位:mm) ふり幅とぬい目長さは、手動で調節することもできます。(14ページ参照)

- 白抜きの番号の模様は基本ぬいの模様です。
- ・設定値の表示がない場合は、ふり幅、ぬい目長さは自動設定値から変えられません。
- 直線ぬい(模様 1, 2, 3, 6, 28)は、ふり幅のかわりに、ぬうときの針の位置を左右に変えることができます。(15ページ参照)
- ふり幅とぬい目長さの数値は目安です。使用する布地、糸、糸調子などの条件によりぬい上がりに誤差が生じます。必ず実際にぬう布地と同じ布地で試しぬいをして、仕上がりを確認してください。
- ・改良のため、設定値は変わることがあります。

	模様	10	2  -  -  -	3  -  -	4/7770	5 477	ο≡≡ <b>=</b> 0	<b>7</b>	8	9	10		12	13	14	15	16	17 ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	18	)	20
ふ	自動設定値	0.0	3.5	3.5			3.5	5.0	2.5	5.0	5.0	5.5	5.5	5.5	4.5	5.0	3.0	3.0	5.0	7.0	6.0
り幅	最小値 - 最大値	0.0-7.0	0.0-7.0	0.0-7.0	-,-	-,-	0.0-7.0	2.0-6.0	2.0-6.0	2.5-7.0	2.0-6.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	1.0-7.0	2.0-6.0	1.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0
ぬ	画面表示	ł						į				1]	1]	1]	1]		H		1)		1)
い 目	模様の区切り	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	$\triangleright$	M	$\bowtie$	$\subseteq$	-	-	-	<b>—</b>	-	<
長	自動設定値	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	0.4	1.0	2.6	5.2	5.2	2.6	4.8	2.6	1.8	1.8	5.2	1.6	7.4
さ	最小値 - 最大値	0.8-5.0	0.8-5.0	0.8-5.0	1.2-5.0	1.2-5.0	1.2-5.0	0.0-2.5	0.3-1.0	0.4-2.0	1.3-2.6	2.6-5.2		1.3-2.6	3.2-8.0	0.8-2.6	0.8-2.5	0.8-2.5	2.6-5.2	0.4-2.0	
	模様	21	22	23 ×	24 	25 J	26 	27	28    -  -  -  -	29 ※ ※	30 XX	31 XX XX	32 ***	33	34	35	36	37 <b>Ж</b>	38	39 ( <del>)</del>	40 * *
ふ	自動設定値	7.0	7.0	6.0	4.0	7.0	5.5	5.0	3.5	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0		7.0	
り幅	最小値 - 最大値	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	2.0-6.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	0.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	-,-	4.0-7.0	
ぬ	画面表示	1]	1]	1]	1]	1]	1]	1]		1]	1]	1]	1]	1]	1]	1]	1]	1]	-	1]	-
い 目	模様の区切り	*	××	X	+	)	×		-	$\Rightarrow$	×	**	%	*	æ)	8	*	*	-	6	-
長	自動設定値	9.6	10.0	5.0	5.2	18.0	5.2	2.6	3.0	5.2	3.8	9.6	8.2	14.7	17.9	13.8	7.4	8.8		12.5	
さ	最小値 - 最大値	4.8-9.6	5.0-10.0	2.5-5.0	2.6-5.2	9.0-18.0	2.6-5.2	1.3-2.6	2.0-4.0	2.6-5.2	1.9-3.8	4.8-9.6	4.1-8.2		8.7-17.9	6.7-13.8	3.8-7.4	4.4-8.8		6.1-12.5	
	模様	41 * * *	42/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5/5	43 5 5	44	45 	46 	47 ====================================	48       	49 <sub>  </sub>    <sup>  </sup>   <sub>  </sub>    <sup> </sup>	50 <sub>-</sub> լոհհել <sub>ո</sub> րհել	51	52   <b>☆</b>	53  }-	54	55	56    <b>MAAAAA </b>	57	58 NAME   1	59 WAIIIIII	60 WAIIIIN 60
Š	自動設定値	5.0	6.5	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	6.0	6.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	2.0	5.0	5.0	5.0	5.0
归幅	最小値 - 最大値	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	4.0-7.0	5.0-7.0	1.0-3.0	3.5-6.5	3.5-6.5	3.5-5.0	3.5-5.0
ぬい	画面表示	1)		1)								1)	1]	1)							
	模様の区切り	*	<u> </u>	<u> </u>	-	-	-	-	-	-	-	100	<u> </u>  }}	<u> </u>		_	-	-	-	-	-
長	自動設定値	5.2	13.0	10.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	12.0	12.0	10.8	13.8		0.4	0.5	0.5	0.5	0.5
さ	最小値 - 最大値	61	62	63	64	65	0.3-1.0	0.3-1.0	0.3-1.0	0.3-1.0	0.5-1.0	0.0-12.0	0.0-12.0	0.4-10.0	0.7-13.0		0.3-1.0	0.3-1.0	0.3-1.0	U.J-1.U	0.5-1.0
	模様	***************************************	***************************************			0000000				長さに 長さに	:つい t、	て i様に	よっ	て、ホ	莫様 <i>0</i>	) 1 金	<del>†</del> 分の	)長さ	を指 <sup>・</sup>	す場合	<del>}</del> ك
ふ	自動設定値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0								あり、						ノます	
幅	最小値 - 最大値	3.5-6.5	3.5-6.5	3.5-6.5	4.0-6.5	4.0-6.5		ま	た、「	画面に	[表示	きされ	.るぬ	い目£	長さの	フマー	-クも	異な	ります	す。言	¥し
ぬ 画面表示 <b>■ ■ ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● </b>																					
()	模様の区切り	-	-	-	>	×								指すり			の区	切り	は、ホ	莫様-	- 覧
	自動設定値											川 を									

### 16 模様の選び方/模様の調整

最小値 - 最大値 0.3-1.0 0.3-1.0 0.3-1.0 1.6-2.8 0.8-1.4

# 自動糸調子

糸調子は、選んだ模様に最適な糸調子に自動で設定されます。ぬい設定ボタンを使って手動で調節することもでき ます。

- ↑ ぬい設定ボタンを押して、糸調子調節画面を表示させます。 糸調子の状態が数値と目盛りで表示されます。
- ♠機能ボタンを押して、糸調子を調節します。 機能ボタン団を押すと糸調子が弱く、®を押すと強くなり ます。©を押すと自動設定値に戻ります。 自動設定値は白黒反転して表示されます。 模様を選び直すと自動設定値に戻ります。
  - @設定値
- の 糸調子が弱くなる
- ⑤月盛り (0 20)
- ®糸調子が強くなる
- ⑥自動設定値に戻る
- ぬいながらでも調節することができます。
- 最大値、最小値になるとピピピッと鳴ってお知らせしま す。(操作音が鳴らないように設定した場合は鳴りませ ん。詳しくは 18 ページの「設定ボタンの使い方(LED) ライト/ブザー音/画面のコントラスト/針停止位置)」 を参照してください)
- もう一度ぬい設定ボタンを押すと、模様案内画面に戻ります。(変更した糸調子は記憶されています。)
- 糸調子調節画面のままでもぬいをスタートさせることができます。

### 自動設定値

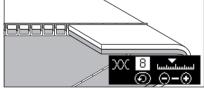
上糸と下糸が布地のほぼ中央でま じわります。(直線ぬい)

### L糸が弱いぬい目

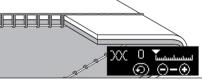
布地の裏側に上糸が出てきます。 (最小値:0)

# 上糸が強いぬい目

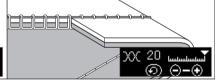
布地の表側に下糸が出てきます。 (最大値:20)



布や糸によっては自動設定値でも中 央でまじわらない場合があります。



上糸が弱すぎる場合は、糸調子を 強くします。



上糸が強すぎる場合は、糸調子を 弱くします。

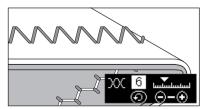
### ●直線ぬい以外の自動設定値

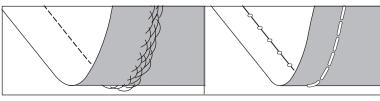
うに調節されます。

### ●こんな場合は…

直線ぬい以外の自動設定値は、直線 図のように布地の表側は普通にぬえ ぬいのときより糸調子をやや弱めに て、裏側がタオル地のようになると して、上糸が布の裏側に少し出るよきは、上糸のかけ方(とくに、糸調 子調節装置への)が間違っています。 21 ページを参照し、正しくかけて ください。

また、糸調子が自動設定値になって いるのに、下糸が布地の表側に出て くるときは、ボビンのセットの仕方 が間違っています。20ページを参照 し、正しくセットしてください。





# 設定ボタンの使い方(LED ライト/ブザー音/画面のコントラスト/針停止位置)

LED ライトの点灯/消灯、ミシンを操作したときの操作音やピピピッという警告音などのブザー音、液晶画面のコントラスト、ぬい終わったときやミシンをストップしたときの針の停止位置を設定できます。 設定が終わったら、設定ボタンを押すと前の画面に戻ります。

- ♠ 設定ボタンを押します。
- ② 設定画面で各項目の設定をします。 次の4項目の設定ができます。前ボタン(▲)で前の画面、次ボタン(▼)で次の画面が表示されます。 それぞれ、機能ボタン©、@を押します。

### **(A)** LED ライト

初期設定は ON です。機能ボタン③、⑥を押して切り替えます。

□N: LED ライトが点灯します。

□FF : LED ライトが消灯します。

### B ブザー音(操作音、警告音)

初期設定はONです。機能ボタン®、⑥を押して切り替えます。

oN:ブザー音が鳴ります。

「 FFII:ブザー音が鳴りません。

# **♪**注意:ケガ防止のために;

ブザー音を OFF に設定すると、誤った操作をしたときの 警告音も鳴りません。操作には十分注意してください。

### ⑥ 画面のコントラスト

初期設定は「4」です。8段階で調整できます。機能ボタン③、⑥を押して調整します。

■: 画面のコントラストが弱くなります。(ぼんやり)

**●**: 画面のコントラストが強くなります。(はっきり)

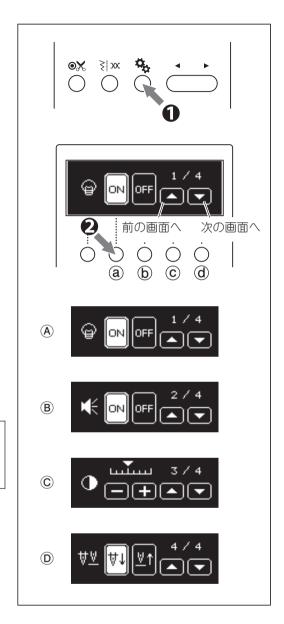
### ① 針停止位置

初期設定は針停止位置下です。機能ボタン③、⑥を押して切り替えます。

針停止位置は、液晶画面に表示されます。詳しくは、 13 ページの「模様の選び方/模様の調整」を参照してください。

♥↓:針停止位置が下になります。

☑↑:針停止位置が上になります。



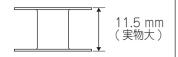
- お設定が終わったら、設定ボタンを押します。
  - ●で設定ボタンを押す前の画面に戻ります。
  - 設定画面のままでミシンの電源を切ると、 設定変更が保持されません。設定を保持す るには、設定ボタンを押してから電源を 切ってください。

# 下糸の準備

# ■ボビンの取り出し方

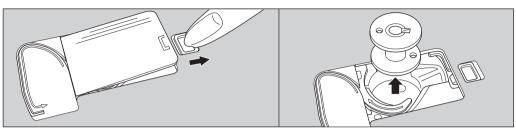
## お願い:

ボビンは、専用のプラスチック製のものをお使いください。

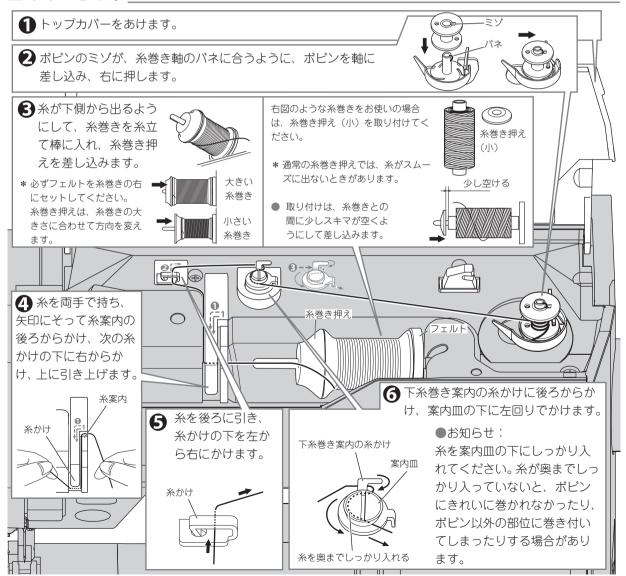


ボビンカバー解放レバーを右に押して、 ボビンカバーを取り外します。

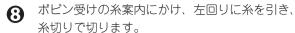
ボビンを取り出します。

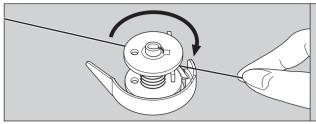


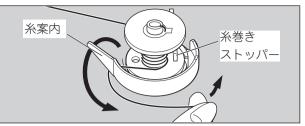
# ■下糸の巻き方



**7** 糸がたるまないようにしながら、ボビンに右回りに4、5回、巻き付けます。



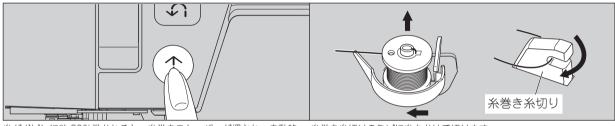




左回りに引くだけで、糸が糸切りにかかり切れます。

スタートボタンを押します。

◆ 巻き終わったら、糸巻き軸を左に戻してボビンを 外し、糸巻き糸切りで切ります。

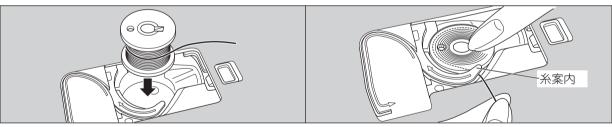


糸がポピンに約80%巻かれると、糸巻きストッパーが押され、自動的 糸巻き糸切りのミゾに糸をかけて切ります。 に止まります。

# ■ ボビンのセット \_\_\_\_

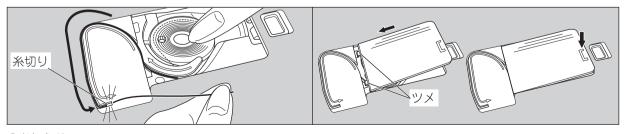
**1** ボビンを糸が左回りになるようにして、ボビンケースに入れます。

**2** 右手でボビンを軽く押え、左手で糸を糸案内に引っかけます。



糸の方向を間違えないように注意してください。

**3** ミゾに沿って、上から下に通し、右に引いて、 糸切りで切ります。 ◆ ボビンカバー左側のツメをミゾに差し込み、右側を軽く押して取り付けます。



### ●お知らせ:

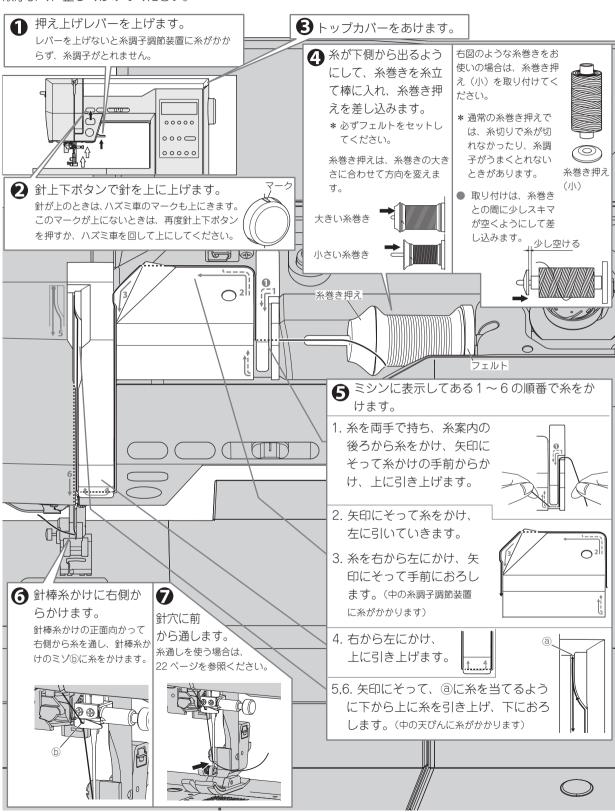
このミシンは、下糸を引き上げなくても、このままでぬい始めることが出来ます。

もし、下糸を引き上げてぬいたいときは、29ページの「下糸を長くとってぬい始めたいとき」を参照してください。

20 下糸の準備

# ■上糸のかけ方

順序よく、正しくかけてください。



# ■糸通しの使い方

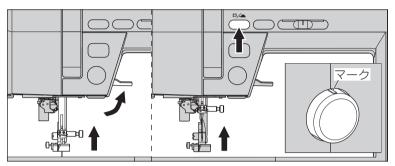
糸通しは、11~16番の針、50~100番の糸に使えます。

# ⚠ 注意:ケガ防止のために;

- 針の下に指を入れないでください。ケガの原因となります。
- 糸涌レレバーを下げたとき、ハズミ車は回さないでください。ケガや故障の原因となります。

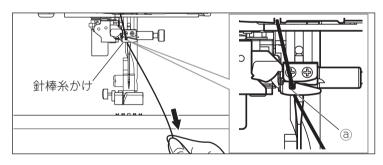
ご注意:透明なナイロン糸など特殊な糸を使用するときは、糸通しは使用できません。

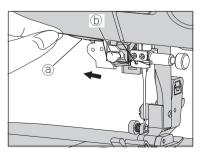
1 押えと針を上げます。



針が下位置にあるときは、針上下ボタンで上に上げます。 針が上位置にあるときは、ハズミ車のマークも上にきます。

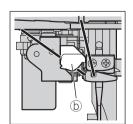
② 針棒糸かけに糸を通し、補助テーブルの手前まで引き出します。 正面向かって右側から糸を通し、針棒糸かけのミゾ@に糸をかけます。





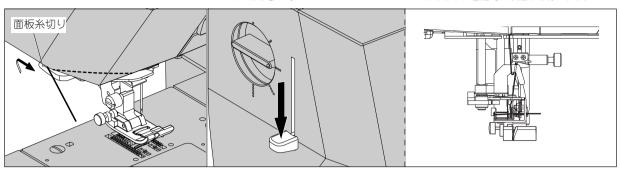
### ご注意:

糸が糸保持体®を通っている ことを確認してください。糸保 持体を通っていないと、糸が針 穴に入りません。

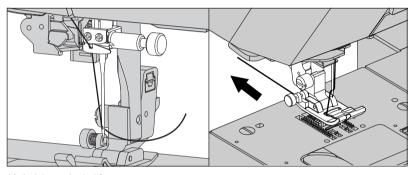


- ◆ 面板糸切りの後ろから手前に 糸をかけて切ります。
- **5** 糸通しレパーを下げます。 糸通しレパーがそれ以上下がら なくなる位置までしっかり下げ てください。

糸通しレバーを下げると、糸通しの装置 が下がり、自動的に糸通しを行います。



- 6 糸通しレバーを放します。
- **7** 押えの下に糸を通し、10 cm ほど 後ろへ引き出します。



針穴を通った糸が、

輪になっている場合 : 輪を引っ張り、糸端を引き出してください。

糸通しに引っかかって : 引っかかっている糸を糸通しから外し、

いる場合 糸端を引き出してください。

# 押えと押えホルダーの取りかえ方

# **⚠**注意:ケガ防止のために;

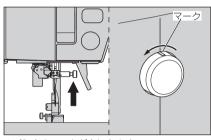
必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

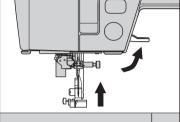


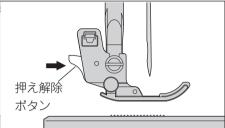
# ■押えの取りかえ方

押えは、ぬいの種類や用途によって使い分けます。それぞれのぬいに適した押えが30ページ以降に示してあります。

- ハズミ車を手前に回して、針を 番上に上げます。
- 2 押え上げレバーを上げ ます。
- お押え解除ボタンを押します。



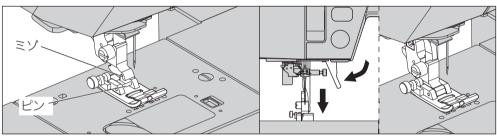




ハズミ車のマークが上にきます。

押えが外れます。

- ⚠ 交換する押えのピンを押えホルダー のミゾの真下に合わせます。
- **5** 押え上げレバーを下げます。

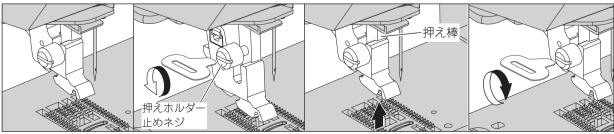


ピンがミゾにはまります。 もし、完全にはまらないときは、押え解除ボタンを押し てみてください。

# ■ 押えホルダーの外し方 \_\_\_\_\_

お手入れをするときや、キルティング押え、上送り押え(別売り品:45、46ページ参照)を取り付けるときは、 押えホルダーを外します。

- で、押えホルダー止めネ ジをゆるめます。
- 🚯 取り付けるときは、ホ 🕢 付属の針板用ドライ ルダーを押え棒の下か ら突き当たるまで持ち 上げます。
  - バーで、押えホルダー 止めネジをしっかりし めます。



前項「押えの取りかえ方」参照 ホルダーが外れます。

注意:市販の大きなドライバーなどであまり強くしめつけないでください。 故障の原因となります。

# 糸と針の選び方

糸と針は、布地の種類や厚さに合わせて選びます。

このミシンに付属している以外の針については、 市販の家庭用ミシン針 HA × 1、HA × 1SP (ニット用針)をお買い求めください。

	布地の種類	糸	の番号	針の番号	模様		<b>とぬい目長さ</b> -ジ参照)
薄地	   薄地ジョーゼット、ボイル、オーガ   ンジー、タフタ、絹布など。 	綿絹化繊糸	$80 \sim 100$ $60 \sim 80$ $80 \sim 100$	9~11番	1	2 3   W 	ぬい目長さ 0.8 ~ 2.5
普通地	ギンガム、ピケ、リンネル、さらさ 木綿、薄手のコーデュロイ、サテン、 別珍、一般服地など。	綿 絹 化繊糸	50 ~ 80 50 50 ~ 80	11~14番	1	2 3   W     	ぬい目長さ 2.0~3.0
厚地	ギャバジン、ツイード、デニム、キ ルティング、コーデュロイなど。	綿 絹 化繊糸	30 ~ 50 50 30 ~ 60	14~16番	1	2 3   W     	ぬい目長さ 2.0~5.0
伸縮性の布地	ダブルニット、トリコット、スパン デックス、ジャージなど。	化繊糸 絹 ニットF	50 ~ 80 50 用糸	11 ~ 14 番 ニット用針	/	5 6 /     7     7     • •	

# 針の取りかえ方

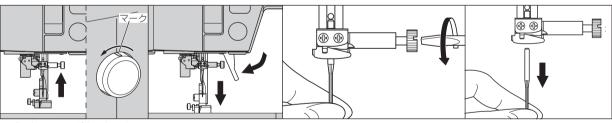
注意:ケガ防止のために;

必ず電源スイッチを切ってから行ってください。



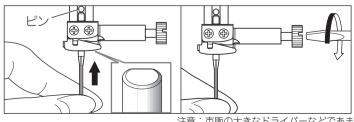
針板の上に紙や布をしいておくと、ミシンの中に針を落とす心配がありません。

- て、針を上に上げます。
  - 下げます。
- 会計をを対していますがら、付属の ドライバーで針止めネジをゆる めます。
- 4 針を外します。



ハズミ車のマークが上にきます。

- **⑤** 新しい針の平らな面を後ろ にして、ピンにあたるまで 差し込みます。
- 6指で軽くネジをしめた後、 付属のドライバーでネジを しっかりしめます。



注意:市販の大きなドライバーなどであま り強くしめつけないでください。故障の原 因となります。

# **⚠**注意:ケガ防止のために;

- 針は、家庭用ミシン針(HA × 1)とご指定 の上、お買い求めください。
- 曲がった針や、先がつぶれた針はご使用に ならないでください。

取り付け前には、針板など平らなものにのせ、のぞいてみ て確かめてください。

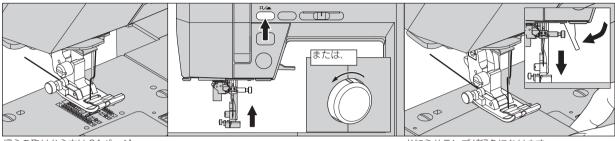


# ぬってみましょう

電源を入れると、直線ぬい( $\frac{1}{2}$ )が選ばれます。

## ■ぬい始め~ぬい終わり

- 押えを確かめます。 (ジグザグ押え)
- 針上下ボタンを押すか、ハズミ車を 手前に回して、針を上に上げます。
- 布地を入れ、押えを下げます。



押えの取りかえ方は 24 ページ

お知らせランプが緑色になります。

▲ 糸端を軽く後ろに持ちな がら、スタートさせます。 ぬいながらスピードを調節できます。また、 ぬいの途中で針上下/クイックスローボタ ンを押すとゆっくりぬいになります。

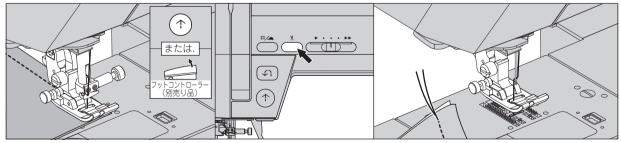
# トコントロ-(別売り品

少しぬったら糸を放します。

# **∕♪**注意:ケガ防止のために;

- 針先に十分注意してください。
- 布地は、ミシンによって自動的に送られ ますので、無理に引っ張ったり、押した りしないでください。針が折れケガをす る恐れがあります。

- おわりまで来たら、ストップ
- 6 糸切りボタンを押し
  - 押えを上げ、布を引き出します。



針停止位置の設定により、停止位置は異なり ます。

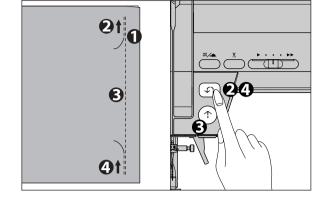
- 番手が30番以下の太い糸や、ナイロン糸など特殊な糸には、糸切りボタンを使わずにミシ ン左側の面板糸切りにかけて切ってください。(29ページ参照)
- 布のないときや、糸を切る必要がないときに、むやみに糸切りボタンを押さないでください。 故障の原因となります。

# ■返しぬい \_

ぬい目のほつれを防ぐため、返しぬいボタンを使って、ぬい始めとぬい終わりに返しぬいをします。 返しぬいボタンを押している間、返しぬいをし、放すと止まります。

- **介** 返しぬいの分、布を奥に入れて、押えを下げます。
- 2 返しぬいボタンを押し続けて、4~5針返しぬい をします。
- ぬいをスタートさせます。
- 終わりまで来たら、返しぬいボタンを押し続けて、 4~5針返しぬいをします。

模様 3(!)は、自動返しぬいの付いた直線ぬいです。(30ペー ジ参照)



● 速度によっては、返しぬいボタンを押したあと、ぬ い目長さの半分の長さをぬい進んでから返しぬいが ぬわれます。

# ■ 自動止めぬい・自動糸切り \_

止めぬい/糸切りボタンを1回押すと、模様のぬい始めとぬい終わりに、自動的に止めぬいをします。 さらに、止めぬい/糸切りボタンをもう1度押すと、止めぬいをした後、自動的に糸を切ります。

- ⚠ 模様を選んだ後、
  - a. 止めぬいだけをしたい場合は、 止めぬい/糸切りボタンを1回 押します。

    が表示されます。
  - b. 止めぬいをして、糸も切りたい 場合は、止めぬい/糸切りボタ ンを2回押します。 ●★が表 示されます。

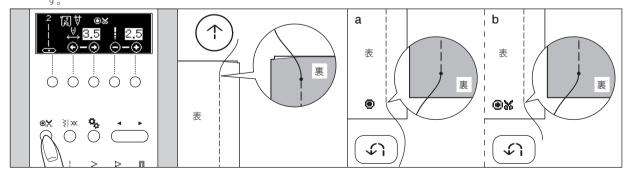
もう1回押すと取り消されま

2 ぬいをスタートさせま す。

> ミシンは止めぬいをしてからぬ い始めます。

> スタート・ストップボタンで中 断できます。ぬいを中断して糸 切りをしたあと、ぬいを再開し た場合は、ぬい始めの止めぬい から再びぬい始めます。

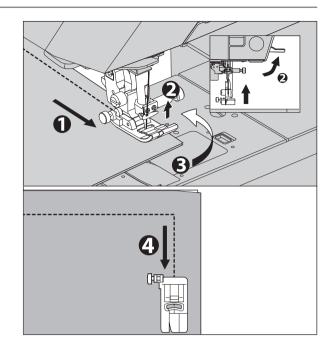
- ぬい終わりまで来たら、返しぬいボタンを 1回押します。
  - a. 止めぬいだけの設定(图)では、止めぬいをして止 まります。
  - b. 止めぬいをして糸も切る設定 (圏帯) では、止めぬいをして糸を切ります。



押したときは、糸切り(器)の設定だけになります。(30、36-38、41ページ参照)

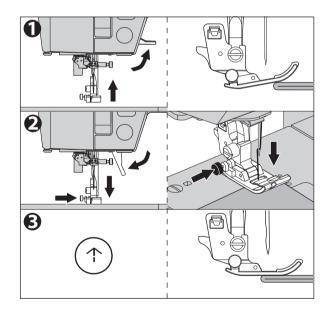
# ■ ぬい方向の変え方

- 押えを上げます。
- **3** 針を軸にして布地を回し、ぬい方向にセットします。
- 押えを下げて、続きをぬいます。

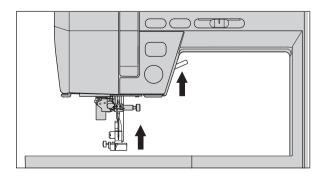


# ■ 厚地のぬい始め (段ぬい押えボタンの使い方)

- 厚地の布端からぬい始めるときに、押えが傾いて スムーズにぬえないときは、押えをいったん上げ ます。
- 2 ジグザグ押えの左側にある黒い段ぬい押えボタンを押しながら、押え上げレバーを下げます。
- る はいをスタートさせます。 押えの傾きが固定されて布が送られます。 ぬい進むと、自動的に固定解除されます。

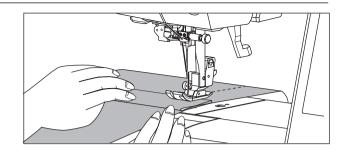


●押え上げレバーをさらに上げると、押えがもう一段 上がり、厚地の布が入れやすくなります。



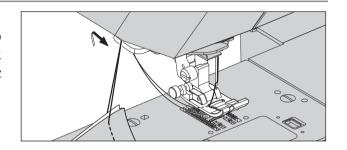
## ■段ぬい \_\_\_\_

布地が重なって、急に厚くなった部分をぬうときは、 手で布の送りを助けながらぬいます。



# ■ 糸切りボタンを使わないとき \_\_

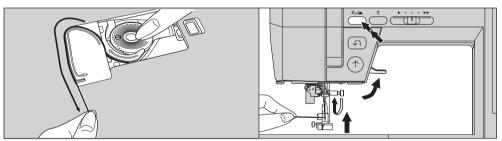
番手が30番以下の太い糸や、ナイロン糸など特殊な 糸を使っているとき、ぬい終わりの糸を長くとりたい ときなどは、糸切りボタンを使わずに、針と押えを上 げて布を引き出し、ミシン左側の面板糸切りに糸を後 ろから手前にかけて切ります。



# ■下糸を長くとってぬい始めたいとき

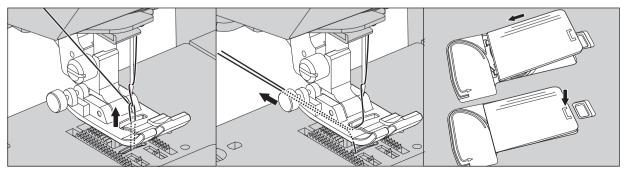
下糸を長くとってぬい始めたいときは、次のようにして下糸を引き上げておきます。

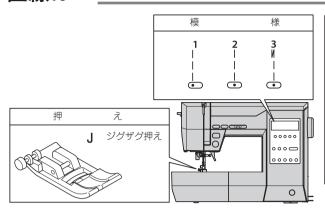
- ⚠ 20 ページの「ボビンのセット」を見な がらボビンを入れ、糸をミゾに通します。 このとき、糸は切らないでください。
- 押えを上げ、上糸を軽く持ちながら、 針上位置から針上下ボタンを2回続け て押します。

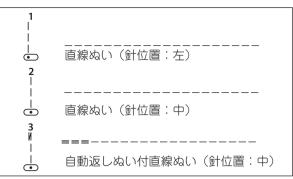


ハズミ車が手前に1回転します。

- 上糸を静かに引くと、下糸が輪 になって出てきます。
- ⚠ 上糸と下糸をそろえて押えの 下から 10 cm くらい後ろへ出 しておきます。
- **5** ボビンカバーを取り付けます。 (20ページ参照)





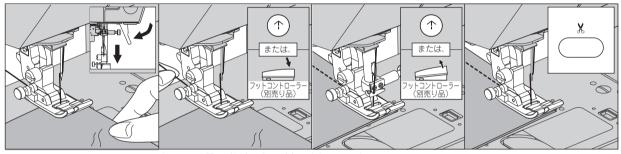


布地に合わせて、模様を選びます。

針位置: 左は端ぬいや薄物ぬいに適しています。

針位置は、ふり幅の調節で変えられます。(15ページ参照)

- 布を入れ、押えを 🕢 糸端を軽く後ろに持ちな がら、スタートさせます。
- 3 ぬい終わりまできたら、 4 糸切りボタンを押しま ストップさせます。

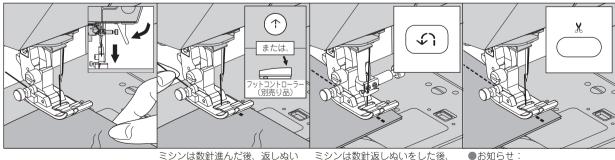


ぬっている間、手は布に軽くそえるようにします。

# ■ 自動返しぬい付直線ぬい (┆)



- ↑布を入れ、押えを下 🗘 糸端を軽く後ろに持ちな 🚯 ぬい終わりまできたら、 👍 糸切りボタンを押し がら、スタートさせます。
  - 返しぬいボタンを1回押 します。

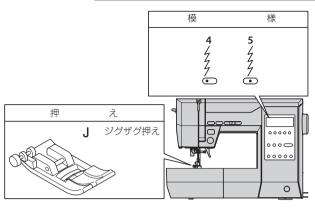


ミシンは数針進んだ後、返しぬい をして、再びぬい進みます。 ぬいを中断するには、スタート・ ストップボタンを押します。(フッ トコントローラーの場合は、ペダ ルを放します)

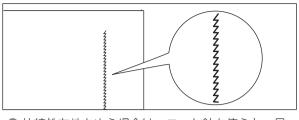
ミシンは数針返しぬいをした後、 再びぬい進み、ぬい終わりの位置 で自動的に止まります。

あらかじめ止めぬい/糸切りボタ ンをタッチしておくと、ぬい終わ りに返しぬいをした後、自動的に 糸を切るように設定できます。(液 晶画面になが表示されます。)

# 伸縮ぬい

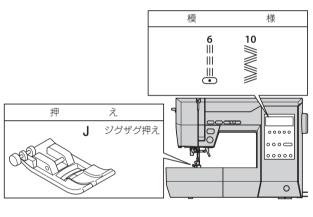


伸縮性のある直線状のぬいです。伸び縮みがきき、布 地を伸ばしてもぬい糸は切れません。

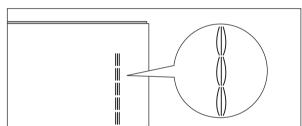


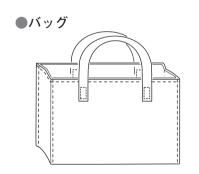
● 伸縮性布地をぬう場合は、ニット針を使うと、目 飛びや糸切れを防ぎます。

# 伸縮強化ぬい



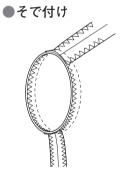
直線、ジグザグの3重ぬいです。丈夫で伸縮性のある ぬい目なので、力がかかってほつれやすい部分やデニ ムなどの丈夫な布地のぬい合わせに最適です。

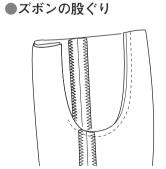




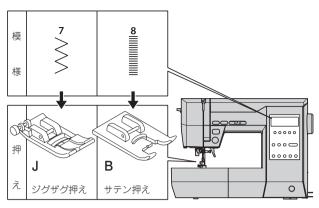


●ポケット

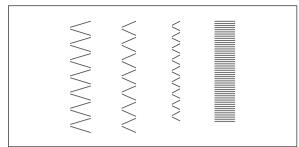




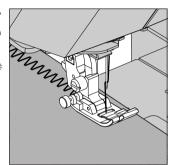
# ジグザグぬい



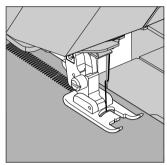
ぬい目長さ、ふり幅を調節していろいろな形のジグザ グぬいができます。



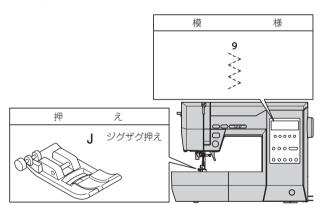
布地のはぎ合わせやふちか がりなどのほか、飾りぬい にも広く用いられます。 ふちかがりぬいは、33ページを参 照ください。



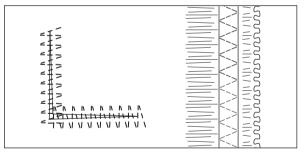
密着ぬい (≣) をぬう場 合には、サテン押えをお 使いください。



# つくろいぬい (点線ジグザグぬい) \_

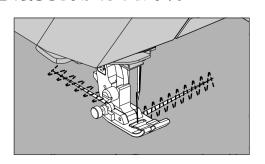


やぶれた布地のつくろいぬいや、ゴムひものぬい付け などに利用します。



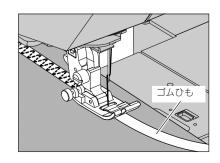
### ●つくろいぬい

ぬい目の長さをこまかくしてぬいます。

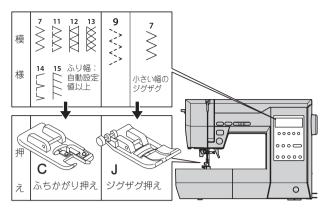


### ●ゴムひも付け

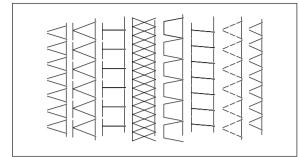
ゴムひもを前後に伸ばしながらぬい付けます。



# ふちかがりぬい (たち目かがり)



あらゆる布地のたち目のほつれを防ぐぬい方です。

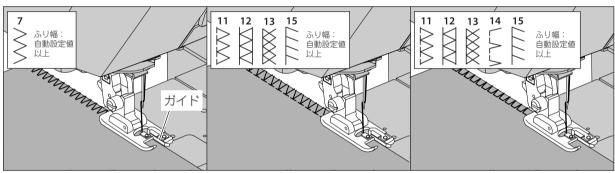


### ふちかがり押えを使う場合:

布端を押えのガイドにあて、針が 布端いっぱいに落ちるようにして ぬいます。

# ⚠ 注意:ケガ防止のために;

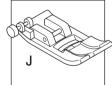
ふちかがり押えを使うときは、必ず模様 7、11 - 15 を選び、ふり幅を自動設定値以上にしてお使いくださ い。また、ぬう前には必ずハズミ車をゆっくり手前に 回して、針が押えにあたらないことを確認してくださ い。ほかの模様では針が押えにあたり危険です。



たち目のほつれ止めとして、広く利用します。

かがりぬいと地ぬいが同時にできるぬいです。 ただし、タオル地や目の粗いニット地などをぬ うときは、ジグザグ押えをお使いください。押 えのツメが布にからむことがあります。

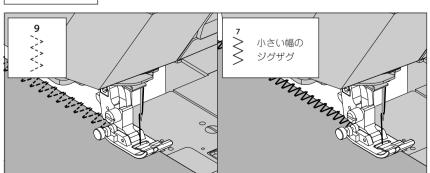
薄地、普通地のほつれ止めに利用します。



# ジグザグ押えを使う場合:

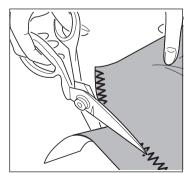
針が布端ぎりぎりに落ちるようにしてぬいます。

あらかじめ布地の内側をぬい、 あとからぬい端を切り落とす方 法もあります。



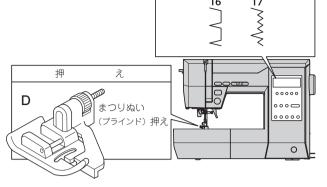
厚地、伸縮性のある布に利用します。

小さい幅のジグザグでかがるときに使います。

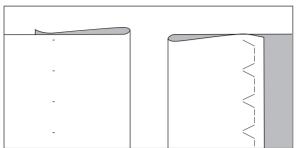


この場合、ぬい糸を切らないように注意 してください。

# **まつりぬい**(ブラインドステッチ)



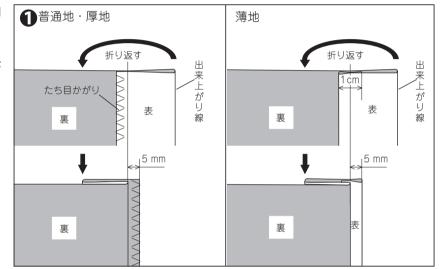
布地の表面に目立たないぬい目を作るぬい方です。ズ ボンやスカートのすその仕上げなどに使います。模様 17は伸縮性のある布地に適しています。



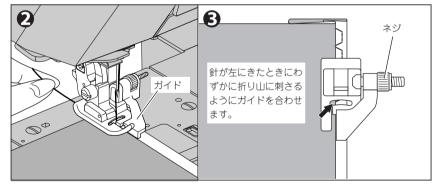
↑ 布を出来上がり線で折り、図 のように布端が 5 mm 出る ように折り返します。

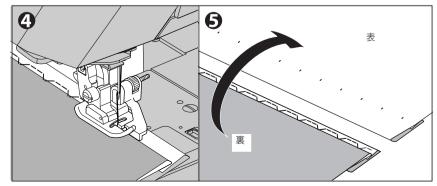
> 薄地の場合、布端をあらかじ め1cm中に折り込んでから、 5 mm 出るように折り返しま す。

ぬい上がり後の布地の裏・表を間違 えないように注意してください。



- 新り山を押えのガイドにあて ます。
- 分が最も左側にきたときに折 り山にわずかに刺さるように ガイドの位置を調節します。 ネジを手前に回すとガイドは右に、 向こう側に回すとガイドは左に移動 します。
  - 針上位置で模様を選ぶと、針は最 も左側にくるようになっていま
- ⚠ 折り山をガイドにあてながら ぬいます。
- **6** ぬい終わったら、布を返しま す。



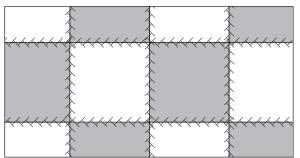


## パッチワーク

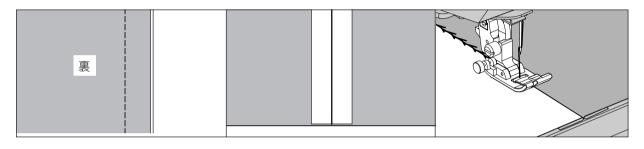
様 22

ジグザグ押え ∘ ∘ ⊂ 00000

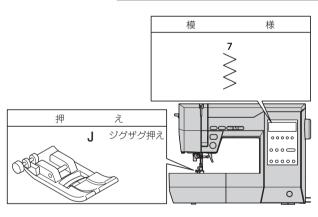
いろいろな布をはぎ合わせ、装飾に用います。



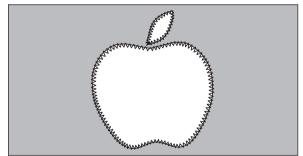
- 2枚の布地を中表に合わせ地ぬ いをします。
- 2 ぬい代をわります。
- ❸ 両方の布地に模様がまた がるようにしてぬいます。



## アップリケ



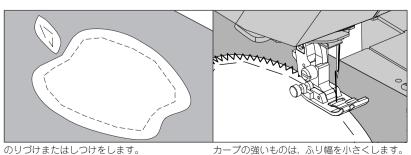
市販や自作のアップリケ布を丈夫にぬい付けます。



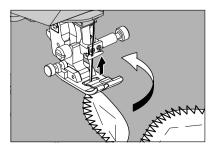
- ↑ アップリケ布を止めます。
- ? アップリケの布端をたち目かが りと同じ要領でぬい付けます。

## ●急な角度をぬう場合

布端に針を落とした状態で押えを上げ、布地 を回します。



カーブの強いものは、ふり幅を小さくします。



パッチワーク/アップリケ 35

## ボタンホールぬい

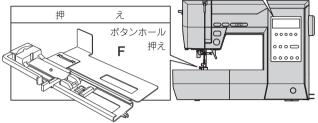
模 様 60 61 65 62 63 \*\*\* 力のかかる 薄地、 厚地用 普通地 薄地、 力のかかる 薄地用 ニット 伸縮地用 普通地用 厚地用 厚地用 普通地用 薄地、 伸縮地用 普通地用

9 種類のボタンホールをそれぞれワンタッチでぬうことができます。

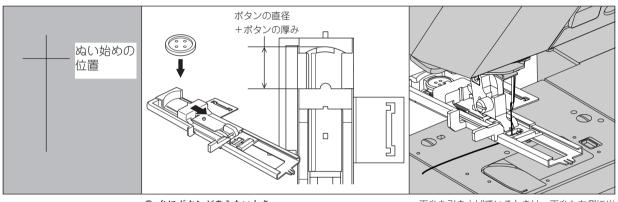
ふり幅を調整することでボタンホールの幅を変更できます。模様 57、58、61 -65 は3段階、59 と 60 は2段階で調整できます。

#### ●お知らせ

必ず実際にぬう布地と 同じ布地で試しぬいを して、仕上がりを確認 してください。

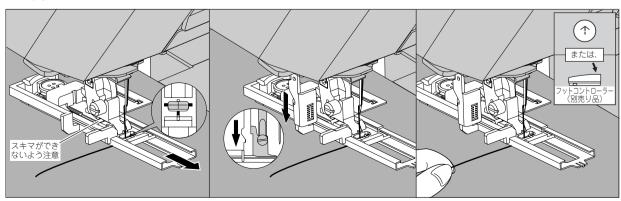


- 布地のボタンホールをぬ う位置に印を付けます。
- がタンを押えの台にセットします。
- **3** 上糸を押えの穴に通し、左側に 出しておきます。



- 台にボタンがのらないとき 台の幅が「ボタンの直径+ボタンの厚み」になるようにス ライドさせます。
- 下糸を引き上げているときは、下糸も左側に出 しておきます。

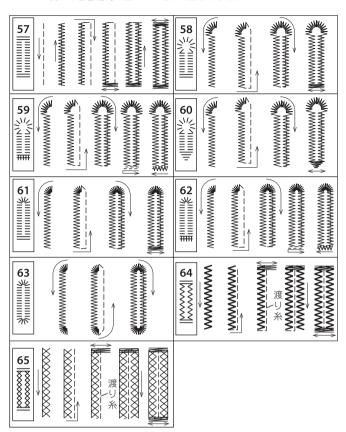
- 布の印が押えの印に合うよう に布地を入れ、押えを下げま す。
- **⑤** ボタンホールレバーをいっぱい に下げます。
- **6** 上糸を軽く持ちながら、スタートさせます。



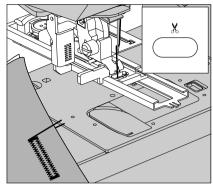
押えの枠と押えの間にスキマができないよう、 枠を一番手前に引いてください。

ご注意: ボタンホールレバーをきちんと下げないと、 お知らせランブが赤く点灯し、2~3針ぬっ て止まります。

図の順序でボタンホールがぬわれていきます。 ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。



介書を表示します。 押えを上げて、布を外します。

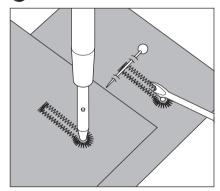


ボタンホールをもう一度ぬうには、押えを上げ て押えの枠を一番手前に戻してください。

#### お知らせ:

あらかじめ止めぬい/糸切りボタンを押してお くと、ぬい終わりに止めぬいをした後、自動的 に糸を切るように設定できます。(液晶画面に※ が表示されます。)

シームリッパーでボタン穴を切り開きます。



ぬい糸を切らないように注意してください。 かん止めのところにまち針を刺しておくと、切り過ぎがありません。 模様 58 - 60 のキーホールには、はと目穴パンチ(市販品)で穴をあ けてからシームリッパーで切り開くときれいに仕上がります。 模様64と65は、中央の糸(渡り糸)を切って取り除きます。 穴を開けるときは、下に厚紙などをしいてください。

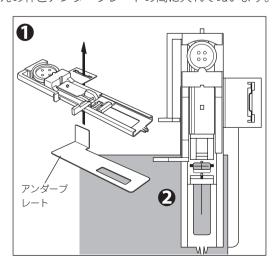
## /【\注意:ケガ防止のために;

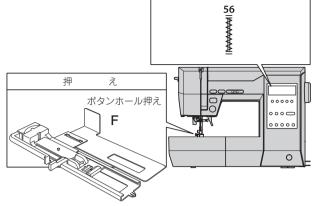
シームリッパーで穴を開くとき、リッパーの先端に 手や指を置かないでください。すべったときケガを する恐れがあります。

#### ●アンダープレートの使い方

薄地や送りにくい布、布端などのぬいにくい部分のボタンホー ルには、アンダープレートを使います。

- 1. アンダープレートを押えの下から差し込んだまま、押えホル ダーに取り付けます。
- 2. 布を押えの枠とアンダープレートの間に入れてぬいます。



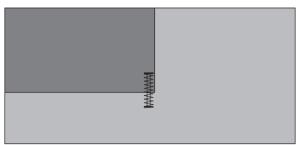


模

様

ポケットロやベルト通しなど力が加わりやすいところ を補強します。

かん止め(模様56)のぬい目のふり幅は5段階、長 さは8段階で変更できます。



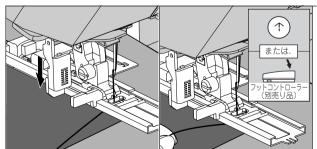
- ↑ ぬいたいかん止めの 長さの分だけ、押え の台をスライドさせ ます。
- 2 上糸を押えの穴に通 し、左側に出してお きます。
- 3 ぬい始めの位置が向こ 厚い布のポケットロのか う側になるように、布 を押えの下にセットし て、押えを下げます。
  - ん止めをぬうには、厚紙 をポケットの横にそえる とぬいやすくなります。



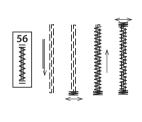
下糸を引き上げているときは、 下糸も左側に出しておきます。

押えの枠と押えの間にスキマができ ないよう、枠を一番手前に引いてく ださい。

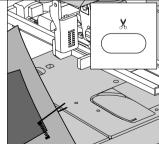
- いっぱいに下げます。
- ☆ ボタンホールレバーを 6 上糸を軽く持ちながら、 6 図の順序でかん止めが ☆ 糸切りボタンを押しま スタートさせます。
- ぬわれていきます。
- す。押えを上げて布を 出します。



ご注意: ボタンホールレバーをきちんと 下げないと、お知らせランプが赤く点灯 し、2~3針ぬって止まります。



ぬい終わると自動的に止めぬいを して止まります。

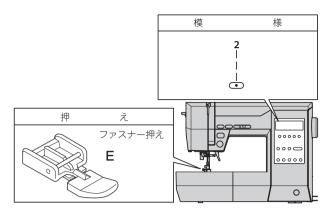


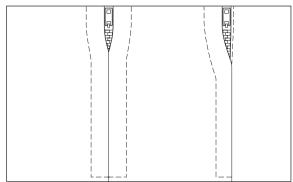
かん止めをもう一度ぬうには、押え を上げて押えの枠を一番手前に戻し てください。

#### お知らせ:

あらかじめ止めぬい/糸切りボタンを押しておくと、ぬい終わりに止 めぬいをした後、自動的に糸を切るように設定できます。(液晶画面に **X**が表示されます。)

## ファスナー付け(つき合わせ・脇あき)

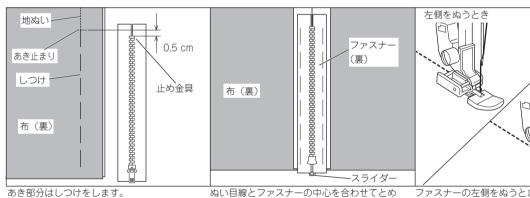




#### ■つき合わせ

- 中表にして、あき止まりまで 地ぬいをします。
- 🔈 ぬい代をわり、ファスナーを しつけます。
- ファスナー押えを取り付けます。

右側をぬうとき

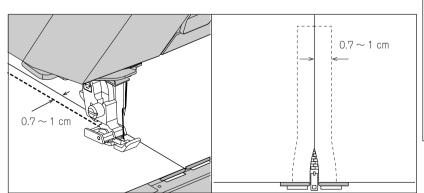


ぬい目線とファスナーの中心を合わせてとめ

スライダーは手前に倒します。

ファスナーの左側をぬうときは、押えの右側の ミゾを押えホルダーに入れ、右側をぬうときは、 左側のミゾをホルダーに入れます。

- からぬいます。
- **6** あき止まりと右側をぬい、しつ けをとります。



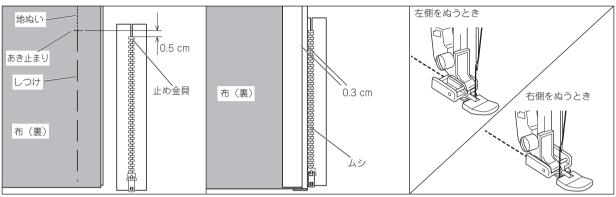
布の合わせ目から 0.7~1 cm 離してぬいま す。

右側も同様に $0.7 \sim 1$  cm 離してぬいます。

/ 注意:ケガ防止のために; \_\_\_ ファスナー押えを使用するときは、 必ず模様 2(1)を選び、針位置は 自動設定値から変えないでくださ い。また、ぬう前には必ずハズミ 車をゆっくり手前に回して、針が 押えにあたらないことを確認して ください。ほかの模様、針位置では、 針が押えにあたり危険です。

#### ■ 脇あき \_\_\_

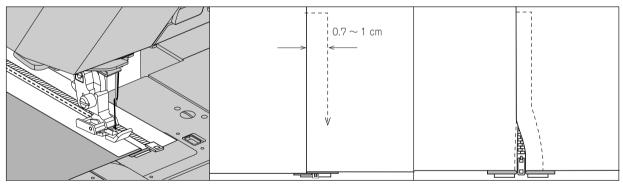
- 地ぬいをします。
- を 0.3 cm 出して折り目を付け、 折り山をムシに合わせます。
- 🕠 中表にして、あき止まりまで 👩 ぬい代をわり、下の布のぬい代 👩 ファスナー押えを取り付けます。



あき部分はしつけをします。

ファスナーの左側をぬうときは、押えの右側の ミゾを押えホルダーに入れ、右側をぬうときは、 左側のミゾをホルダーに入れます。

- ⚠ ファスナーの左側をあき止ま りからぬいます。
- **6** 上の布を開き、あき止まり と右側をぬいます。
- 6 スライダーの手前で止め、しつけ を取り、スライダーを下げて残り をぬいます。

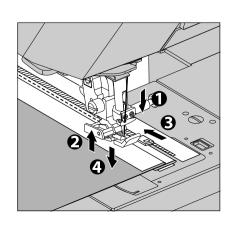


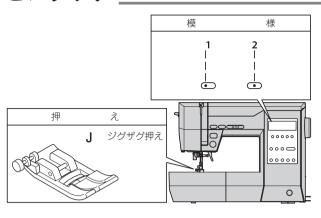
押えがファスナーのムシにのらないように してぬいます。

右側は、布の折り目から 0.7~1 cm 離して ぬいます。

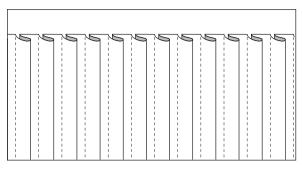
#### ●スライダーをよけてぬうには:

- 1. スライダーの手前でミシンを止めます。 針の停止位置が上のときは、針上下ボタンで針を下 げます。
- 2. 押えを上げます。
- 3. スライダーを向こう側へ下ろします。
- 4. 押えを下げてぬい続けます。

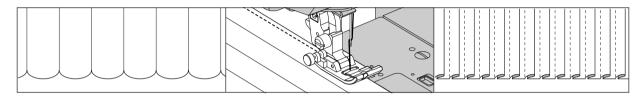




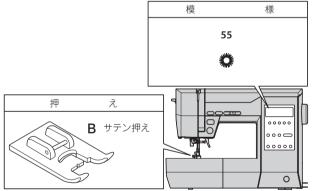
ブラウスなどの装飾に使います。



- アイロンでピンタックの折り 山を整えます。
- **2** 折り山を伸ばさないようにしながら、 **3** アイロンで片側に倒します。 ピンタックをぬいます。



## アイレット (はと目穴)

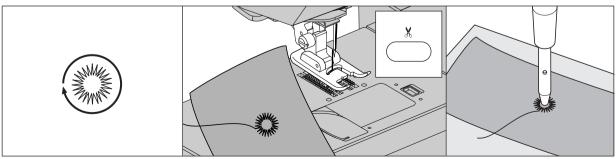


ベルトの穴などに使用するアイレット(はと目穴)を 作ります。



ふり幅を調節して、アイレットの大きさを3段階に変えることができ ます。

- ↑ 布を入れ、押えを下げて スタートします。
- 糸切りボタンを押し、押えを上げて 布を取り出します。
- 3 はと目穴パンチ(市販品)で 穴をあけます。

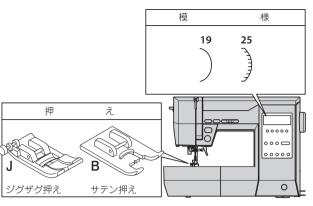


ぬい終わると止めぬいをして自動的に停止します。

穴をあけるときは、下に厚紙などをし いてください。

あらかじめ止めぬい/糸切りボタンを押しておくと、ぬい終わりに止めぬいをした後、自動的に糸を 切るように設定できます。(液晶画面にがが表示されます。)

## スカラップステッチ

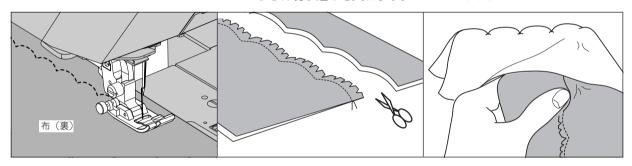


テーブルクロスやブラウスのえりなどのふち飾りに使います。



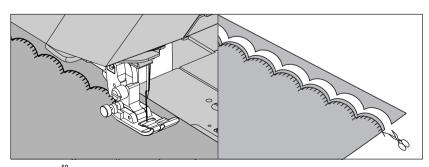
# ● スカラップ 1(模様 19 ))

- 2 ぬい目にそって 0.3 cm のぬいしろをとって切り取り、ぬいしろに切り込みを入れます。
- 奇を表に返して、ぬい目の山を表に押しだし、アイロンで仕上げます。



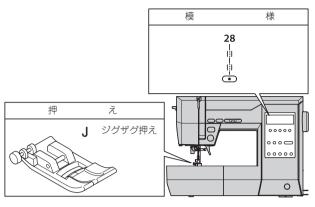
# ● スカラップ 2(模様 25 )

- **1** 布端に模様がかからないように 端を残してぬいます。
- 2 糸を切らないように注意して ぬい目にそって布を切ります。



模様  $50(\sqrt[7]{4})$  でもスカラップをぬうことができます。この場合、サテン押えをお使いください。

## 手ぬい風キルトステッチ

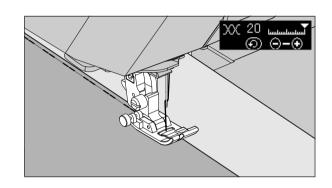




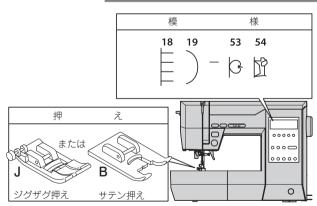
上糸に透明なナイロン糸や、目立たない糸を使い、下 糸にキルト布地に合う配色の糸を使います。

糸調子を強くして(17ページ参照)、下糸が布の表側 に出るようにすると、手でぬったような風合いのキル トぬいができます。

● 糸調子を強くするぬいなので、普通地、厚地の布に だけお使いください。

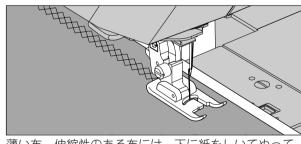


## 飾りぬい



● 模様に適した押えが液晶画面に表示されます。

装飾的なぬいに用います。



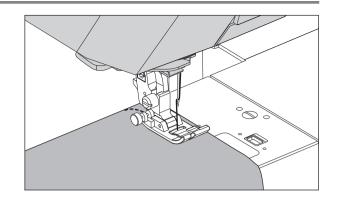
薄い布、伸縮性のある布には、下に紙をしいてぬって ください。

## フリーアームぬい

補助テーブルを取り外すだけでフリーアームミシンになります。

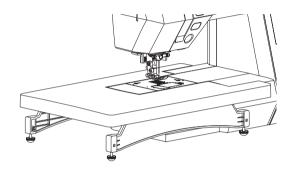
袖口や肩口の始末、ズボンのすそのまつりぬいなどが 簡単にできます。

- 補助テーブルの取り外し方は9ページを参照ください。
- まつりぬいは34ページを参照ください。



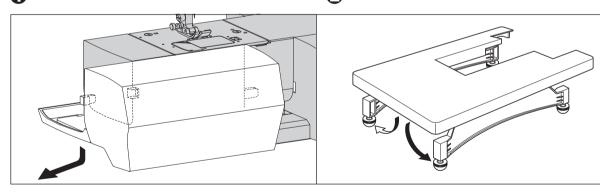
## 大型テーブルのご案内(別売り品)\_

カーテンなどの大きなものをぬうときに取り付けます。



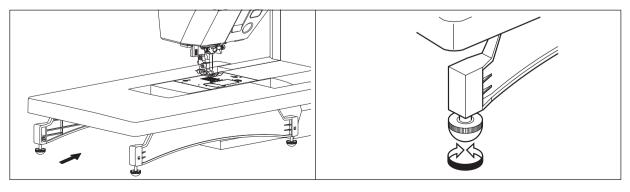
↑ 補助テーブルを取り外します。(9ページ参照)

大型テーブルの脚を立てます。

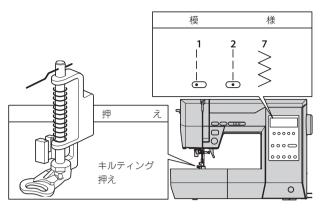


ミシンに左からすべり込ませます。

4 脚を回して、高さを調整します。



## キルティング押えのご案内(別売り品)



キルティング押えを使うと、布を手で操作して、ぬう 方向を自由に変えられる曲線ぬいができます。 キルティング押えを使うときには、ドロップフィード レバーを左にして、送り歯を下げます。

● お求めは、ミシンお買い上げの販売店にご相談くだ さい。

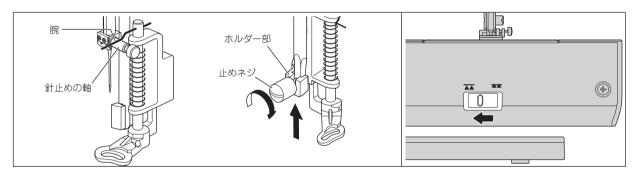
#### ■キルティング押えの取り付け方

#### /♪ 注意:ケガ防止のために;

必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。

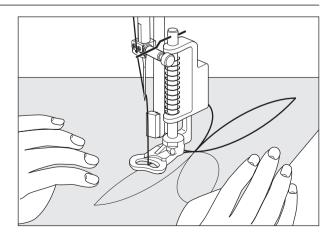


- 押えホルダーを取り外します。(24ページ参照)
- 夕 押えの腕が、針止めの軸の上にくるように取り付け、押えの ホルダー部を上に持ち上げながら、押えホルダー止めネジを しっかりとしめます。
- おロップフィードレバーを左にし て、送り歯を下げます。



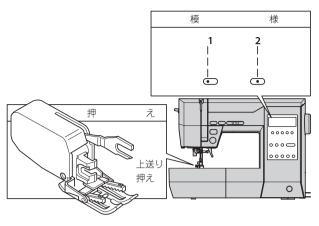
## ■ ぬい方(曲線ぬい)

- 布に模様を下書きします。 薄い紙に書いて、布にのせる方法もあります。(ぬい終わってか ら紙を取り除きます。)
- 介 布を押えの下に入れ、押えを下げます。 押えは始めは浮いていますが、ぬい始めると針と一緒に上下に動 き出します。
- **も** スピードをゆっくりにします。
- このとき手が針に触れないよう、十分注意してく ださい。



● ぬいが終わったら、ドロップフィードレバーを右に戻して送り歯を上げておいてください。

## 上送り押えのご案内(別売り品)



くっついたり、伸びたり、また、すべりやすい布地に、 上送り押えを使うと2枚の布地がずれることなく、き れいで均一なぬい目が得られます。

次のような布地にお使いください。

- 格子じまやしま地
- ビニール、レザーや、つやのある布地
- パイル地、けば立った布地
- ベルベットやとくにすべりやすい化繊地
- ・ 長いぬい合わせに…
- お求めは、ミシンお買い上げの販売店にご相談くだ さい。

#### ■上送り押えの取り付け方



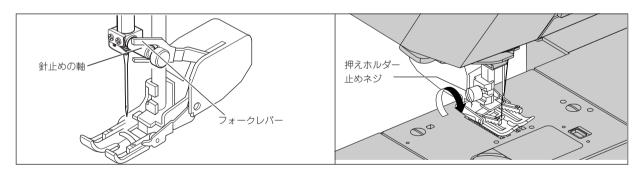
## /↑ 注意:ケガ防止のために;

必ず電源スイッチを切ってから行ってください。



- 押えホルダーを取り外します。 (24 ページ参照)
- 📭 上送り押えのフォークレバーを針止めの軸にかけ

お押えのホルダー部を押え棒に後ろから取り付け、 押えホルダー止めネジをしっかりとしめます。

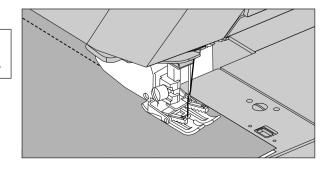


#### ■ぬい方

スピードをゆっくりにしてぬってください。

## ★注意:ケガ防止のために;

上送り押えは、必ず上記の模様だけにお使いください。



## ミシンのお手入れ

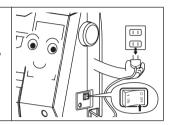
糸くずやほこりがたまると、ぬい上がりを悪くしたり、故障の原因にもなります。 いつも清潔にしておいてください。

#### ●お知らせ

このミシンのライトには、長寿命の LED ライトを使用しています。 もし、ライトが切れた場合には、ミシンお買い上げの販売店にご相談ください。

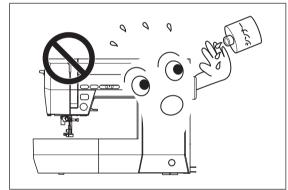
#### **∕♪**警告;感電、ケガ防止のために;

お手入れの際は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。



#### ■ミシン表面、ミシンカバーの掃除

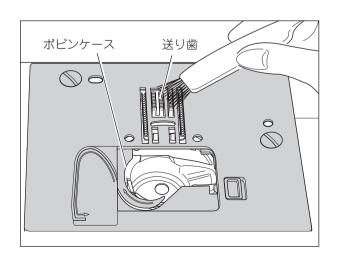
やわらかい布に中性洗剤を少し含ませて、よくふき取ってください。 シンナーやベンジンなどでふかないでください。



## ■ボビンケースの掃除

ボビンカバーとボビンを取り外し、ブラシなどで掃除してください。

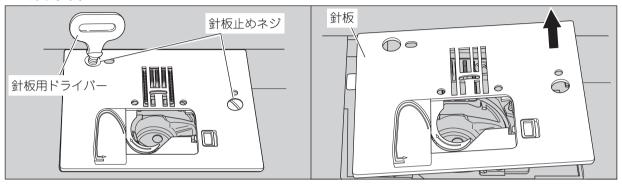
● 外がまやボビンケースには、油をささないでくださ (10



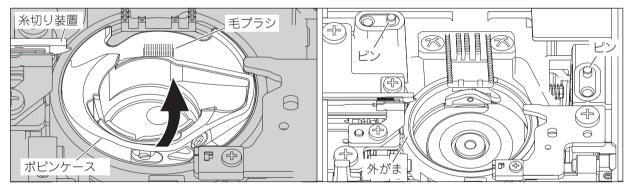
## ∕♪\ 注意:ケガ防止のために

針板を外すと、送り歯の左下に糸切り装置があります。この内部には糸を切るための鋭利な部品が使われてい ます。安全のため、糸切り装置には、直接指で触らないでください。

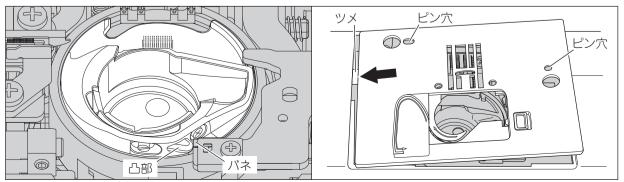
- ↑ 補助テーブル、針、押えホルダーを取り外します。 ♪ ボビンカバーとボビンを取り外します。
- 外します。
- ☆ 付属の針板用ドライバーで、針板止めネジ2本を 
  ☆ 針板の右側を持ち上げて、針板を取り外します。



- ボビンケースの手前を上に持ち上げて取り出しま す。
  - 糸切り装置に触らないでください。 /!\注意
    - 毛ブラシは取らないでください。
- 外がまと送り歯のまわりを掃除します。 ര ●掃除機を使うときれいになります。 ボビンケースのよごれはかわいた布で軽くふき取り ます。



- ボビンケースを外がまの中に手前からすべり込ま せます。
  - ボビンケースの凸部が回転止めのバネに当たるよ うにします。
- 分針板左側のツメをミシン本体に差し込み、針板のピークラインでは、 ン穴をミシンのピン(6図参照)に合わせて取り付 けます。針板止めネジを取り付けます。



定格電圧	100 V
消費電力	45 W
周 波 数	50Hz/60Hz
ライト	白色 LED
寸   法	幅:427 mm × 高さ:300 mm × 奥行き:196 mm
重量	8.0 kg

## お知らせメッセージ

ミシンが正しくない状態でスタートしようとしたときや、間違った操作をしたときには、ピピピッと警告音が鳴って液晶画面にメッセージが表示されます。必要な処置を行ってください。(操作音が鳴らないように設定した場合は鳴りません。詳しくは18ページの「設定ボタンの使い方(LEDライト/ブザー音/画面のコントラスト/針停止位置)」を参照してください)

	メッセージ	原因	処置	参照ページ
1	<b>a</b>	下糸巻き中。または、糸巻き軸が 右に押されている	糸巻き軸を左に戻します。下糸巻 き中の場合は、下糸巻き完了後に 左に戻します	19
2	\$ <b>-</b> 0	押えを上げたままスタートさせよ うとしている	布地を入れ、押えを下げてぬって ください	11, 26
3	<b>□^</b> ₽€	模様を選ばないでスタートしよう としている	模様を選んでください	13, 14
4		ボタンホール、かん止めをぬい終 わったのに、もう一度スタートさ せようとしている	押えを上げ、ボタンホール押えを ぬい始めの位置に正しくセットし てから押えを下げます	37, 38
5	0.5 N	返しぬいボタンを押したまま電源 スイッチを入れた	返しぬいボタンを放してください	12
6	↑ <del>↑</del> ₽	スタート・ストップボタンを押し たまま電源スイッチを入れた	スタート・ストップボタンを放し てください	11

	メッセージ	原因	処置	参照 ページ
7	₽₽₽	 針上下/クイックスローボタンを 押したまま電源スイッチを入れた	針上下/クイックスローボタンを 放してください	11
8	<b>X</b> ⇒ ≃	糸切りボタンを押したまま電源ス イッチを入れた	糸切りボタンを放してください	12
9	(⊕×∈  ⊕수∈)  වැං <u>ළ</u>  ව	フットコントローラー(別売り品) が接続されているのに、スタート・ ストップボタンを押した		10
10		フットコントローラー(別売り品) のペダルを踏んだまま電源スイッ チを入れたか、止めぬい、ボタン ホールぬいをぬい終わったのにペ ダルを踏んでいる	ペダルを放してください	10
11		ボタンホールレバーを下げないで ボタンホールやかん止めをスター トしている	ボタンホールレバーを下げてくだ さい	36, 38
12	ON OFF	糸切り動作のエラー	電源スイッチを切り、上糸と下糸をかけ直してください	10, 20, 21
13	⚠️♣️ Error(WIND)	コンピュータのエラー	ミシン内部の糸巻きスイッチが故 障しています。修理・サービスを お申しつけください	52

## こんなときには \_\_\_\_\_

ミシンの調子が悪い場合は、まず次のことを確かめてみてください。

不調の状態	原因	処置	参照ページ
上糸が切れる	糸のかけ方が間違っている ボビンケースに糸がからまっている 針の取り付け方が間違っている 布地に対して糸が弱すぎる	正しくかけ直します からんだ糸を取りのぞき掃除します 正しく付け直します 布地と糸、針の関係を合わせます	21 47 25 25
下糸が切れる	ボビンのセットが間違っている ボビンケースに糸がからまっている 外がまにゴミがたまっている	正しくセットし直します からんだ糸を取りのぞき掃除します 掃除します	20 47 48
ぬい目がとぶ	針の取り付け方が間違っている 針が曲がっているか、先がつぶれている 布地に対して糸と針が合っていない	正しく付け直します 針を取りかえます 布地と糸、針の関係を合わせます	25 25 25
ぬい目にしわが よる	糸のかけ方が間違っている ボビンのセットが間違っている 針の先がつぶれている	正しくかけ直します 正しくセットし直します 針を取りかえます	21 20 25
ぬい目に輪がで きる	ボビンのセットが間違っている 糸のかけ方が間違っている	正しくセットし直します 正しくかけ直します	20 21
模様がくずれる	模様に対して押えが合っていない	模様に合った押えを取り付けます	30~
糸通しができない	針が上に上がっていない 針の取り付け方が間違っている 針が曲がっている	針上下ボタンまたはハズミ車で針を上に上げます 正しく付け直します 針を取りかえます	11, 22 25 25
布地を送らない	ぬい目長さが布地に合っていない 送り歯が下がっている 送り歯にほこりがかたまっている	ぬい目長さを調整します ドロップフィードレバーを右にして、送り歯を上げ ます 掃除します	15 11 48
針が折れる	布地を無理に引っ張っている 模様に対して押えが合っていない(針が押えにあ たっている) 針の取り付け方が間違っているか、しめ方がゆるい 布に対して針が細すぎる	手は布地にそえるだけにします 模様に合った押えを取り付けます 正しく付け直します 布地と糸、針の関係を合わせます	26 30 ~ 25 25
回転が重く音が 高い	外がまや送り歯にゴミがたまっている	針板を外して掃除します	48
ミシンが動かない	電源プラグの差し込みが不十分である 電源スイッチが入っていない フットコントローラー (別売り品) が取り付けてあ る	しっかり差し込みます スイッチを入れます フットコントローラーで操作するか、フットコント ローラーを外します	10 10 10
●お知らせランプ …縁に点灯 …赤く点灯 …赤く点灯	<ul><li>糸巻き軸が右へ押されている</li><li>押えが上がっている</li><li>ボタンホールぬい、かん止めぬいで:</li><li>・ ボタンホールレバーがきちんと下がっていない</li><li>・ ポタンホール押えが取り付けられていない</li></ul>	左へもどします 押えを下げます ・ きちんと下げます ・ ポタンホール押えを取り付けます	19 11 36, 38 36, 38

この頁に記載されている項目以外の不調、または部品の交換、電気系統の故障の修理サービスは、ご購入店または 「お客様相談係」(52ページ参照)におたずねください。

## 修理サービス要領

#### ●修理サービスのご相談

- 1 このミシンのご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 2 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。

#### ●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、製造打ち切り後、通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

#### ●無料修理保証期間後の修理サービス

- 1 使用の手びきに基づいて正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。
  - ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
  - イ 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  - ロ 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  - ハーご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  - 二 ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または 改造したために不調、故障または損傷したとき。
  - ホ 職業用として無理なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 2 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によっても元どおりに修復できないことがあります。
- 3 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。
- 4 このミシンは持ち込み修理品ですので、修理の際はご購入店までお持ち込みくださるよう、お願いいたします。

170年以上も家庭用ミシンを作り続けてきたシンガーは、迅速で正しいサービスをモットーとして全世界のご家庭に安心して使えるミシンをお届けいたしております。

## お問い合わせまたはご相談先(純正部品の購入方法)

シンガーミシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記の弊社「シンガーミシンお客様相談係」でも承っておりますのでご遠慮なくお申し越しください。

# 株式会社ハッピージャパン

「シンガーミシンお客様相談係」

〒 110-0016 東京都台東区台東2丁目9番5号 TEL: 03-3837-1862 FAX: 03-3837-0072 受付時間: 平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

(土・日・祝日および株式会社ハッピージャパンの休日を除く)

- \* 住所および電話番号は都合により変更することがありますのでご了承ください。
- \* シンガー純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、上記の弊社「シンガーミシンお客様相談係」におたずねください。
- 52 修理サービス要領/お問い合わせまたはご相談先(純正部品の購入方法)

#### ●無料修理保証について

- 1. 無料修理保証期間(ご購入の日から1カ年間)内に故障した場合は、無料で故障箇所の修理調整または故障部品の交換をいたします。
- 2. 無料修理保証は表記ミシン本体のみとし、ケース、針及び電球など消耗品を除きます。
- 3. 無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書を提示してください。
- 4. 無料修理保証をお受けいただくときは、ミシンを購入店へご持参またはご相談ください。

#### ●無料修理保証が受けられない場合

次のような場合には、保証期間内でも保証の対象とはなりません。

- 1.「使用の手びき」に記載してある使用方法または、保存方法と異なる方法によったため不調、故障または損傷したとき。
- 3. ご購入後の移動または輸送によって、不調、故障または損傷したとき。
- 4. ご購入店、または当社で指定した販売店、サービス店以外で修理分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
- 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 6. 特別なご依頼により点検、精密検査または分解掃除等をしたとき。
- 7. この保証書のご提示がなかったとき。
- 8. この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。
- 9. この保証書の字句の訂正または書き換え等をしたとき。
- 10. この保証書は日本国内に限り有効といたします。

#### ●有料修理について

- 1. 上記の 1.  $\sim$  10. に該当する場合、その他有料で修理をするときの費用は、別に定める必要部品代、出張費および技術料の合計額といたします。
- 2. 無料修理期間中にお客様のご依頼によって販売店が出張修理する場合は、別に定める出張費をいただきます。

#### ●お客様へのお願い

- 1. この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について、ご不明の場合はご購入店または、当社の「お客様相談係」等へお問い合わせください。
- 2.「使用の手びき」の「修理サービス要領」をよくお読みください。
- 3. この保証書は紛失されても再発行いたしませんので、大切に保存してください。

# SINGER®

## 保証書

機械本体がお客様の正常な使用状態で万一故障した場合は、裏面記載の内容で無料修理を保証します。

型	豆	ť		SS	SX-7	'00		機	械	番	뮹	
*お買上げ日				年	月	В	保	証	期	間	お買い上げ日より本体 1年	
* お客	ご住	所	₸				TEL:					
<del>合</del>   様	フリガ ご 芳											様
* 販売店	住店	所名	<u> </u>								(f)	TEL:

\* 印欄に記入のない場合無効となります。必ず記入の有無をご確認ください。 もし、記入がない場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。 本書は、再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

## 株式会社ハッピージャパン

〒 110-0016 東京都台東区台東2丁目9番5号 TEL: 03-3837-1865

(本社) 〒990-2251 山形県山形市立谷川3丁目3515

このミシンについてお気づきの点やお問い合わせ等がございましたら、下記の弊社「シンガーミシンお客様相談係」までご連絡ください。

## 「シンガーミシンお客様相談係」

TEL: 03-3837-1862 FAX: 03-3837-0072 受付時間: 平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

(土・日・祝日および株式会社ハッピージャパンの休日を除く)